(明治卅九年九月十日第三種郵便物認可)
大正五年五月二十二日
THE KEIJO NIPPO
第三千百二十五號 (一)

京城日報

廿一日夕刊

定價 一部金五錢 一ヶ月金六十五錢
廣告料
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目
電話

○長沙陳州鳳凰縣の獨立

長沙、陳州も獨立し鳳凰縣も亦獨立せり其の他續々獨立をなさんとす(上海特電)

○米國海軍擴張案の内容

外電の報する處に依れば米國海軍擴張計畫は愈々下院特別委員會にて可決せられたるが右は千九百十七年より同二十一年に至る五年計畫の政府提出案中より明年度分を切り放し承認を與へたるものなるべし今之を原案に比較するに戰艦全部を削除し驅逐艦潜航艇は何れも削除又は減少し巡洋艦三隻輕巡洋艦一隻を增加したり巡洋艦を增加したる理由はドガアー、バンク、チリー沖、フオークランド等に英獨海戰の教訓と昨年舉行の大演習の際巡洋艦少數の爲國防軍の敗退に歸したるに鑑みたる結果ならんか而して該案は朝野に於て好評なるを以て上院に於て多少の改正あるも現在以下に削減せらるゝが如きことなかるべしと觀測さる(東京特電)

○三億磅軍費支出案提出

首相アスキス氏は二十三日三億磅の軍資支出に對する政府の信任案を議會に提出すべし(倫敦電報)

○戰後英國の貿易政策

チヤンバーレン氏の演說

印度事務大臣チヤンバーレン氏は下院に於て注意すべき演說を試み戰後に於ける英本國及び殖民地の貿易政策に關し其の方針を具體的に豫示せり新政策は全然保護貿易に非ず又自由貿易にも非ず寧ろ右兩者を折衷せる組織にして漸次擴張の上英帝國の貿易を增進せんとするものなりと同氏は財政法案に關して論述し英國の財力は獨逸に比し非常に優勢なるものある事を示せり(倫敦電報)

○塞軍輸送問題談判不調

塞耳維軍輸送問題に關する希臘との談判は聯合國側が讓歩せざる爲遂に不調に歸せり聯合國は塞軍輸送に希臘鐵道を使用せず海路を取るに決定せり(倫敦電報)

○ス地方に成功せる露軍

スヴエンテンコ地方に於ける最近成功せる露軍の目的はボニウヴエグ鐵道を襲ひ且つイルクスト周圍の獨軍を脅すにあり若し此の成功にして尙ほ順當なる進展を示さば獨軍は秋冬兩季を通じて其の支持に全力を注ぎたる地點より退却の餘儀なきに至るべし(露都電報)

○釜山築城の必要

同部築城本部長下關視察

築城本部長同部陸軍中將は朝鮮より二十一日朝下關著同地要塞司令部事務の視察を爲し廿二日午前九時五十分發列車にて歸東の筈なるが其談に曰く釜山下關の關係上釜山には將來要塞築城の必要あり爲めに今回釜山をも視察したりと(門司特電)

○武富藏相西下

武富藏相は二十一日午前九時三十分下關著官民多數の迎送を受け同十時三十分門司發佐賀に向へり(門司特電)

◉乾鰯改良注意

朝鮮乾鰯は乾燥法の改良は其鮮價を高め販路を擴張する上に於て須臾も等閑に附すべからざる急務なるを以て各道は先年來鰯の販賣極要地又は稚鰯共同飼育所等在地等に乾鰯の設備を爲し之が使用を奬勵したる結果、近時乾鰯法の改良は大に見るべきものあるに至れるも尙は未だ從來の如く太陽熱又は溫突の火熱に依りて乾燥し時に鰯自然の美質を傷くるものあるを遺憾とし過般政務總監は各道長官に通牒して之が改良を促したるが今回總督府にては殺師乾鰯上の注意事項を印刷に附し各道府郡島廳簡易農業學校、農業傳習所、農業學校、農業講習所、農業技術員、稚蠶共同飼育所、地方金融組合等に配付す可く既に各道廳に向け送附したり

◉重要食料品調査

京畿道に於ては京城府内に於ける重要食料品の調査を行ふ必要ありとし此程京城府に向け其調査を命じたるが京城府は更に京城商業會議所等と打合の上近く調査を發表す可く目下切りに進行中なりと

◉振威の鯡子

鯡の卵を以て製造する鯡子は内地にては主として長崎に於て製造され食膳の珍味として上流社會に需要多く隨て百目四圓内外の高價を唱へつゝあるが、我朝鮮にては古來兩班の好下物として多少の需要ありしも其事業微々として振はず其製造方法に至りては粗雜幼稚の域を脱せざるを以て鯡の漁場を以て知られたる京畿道振威郡に於ては茲に見る所あり過日來其々調査中の處愈々有望たるを確めたるを以て總督府より菖蒲技師の出張を乞ひ道廳より岩谷書記出張し去十五日より金振威郡守、朝日書記立會し鯡子製造練習を開始したるが成績頗る良好なるを以て今後尙數回練習を實行し將來同郡重要產物の一たらしむる計畫なりと(平澤)

◉濟州島に登記令

濟州島に對し朝鮮不動產登記令を施行するの件は十九日附府令を以て近く發布の事となれるが其實施期は六月一日也

◉恩賜機業生募集

京畿道恩賜機業場にては疑に京城恩賜授產場機業部にて養成したる十七名の受產生をして機織に從事せしめ居れるも今回更に六十五名の鮮人婦女子を京城及び龍山より募集することゝなり目下其々募集中なるが内三十五名は場内に於て其他は場外自宅に於て機業に從事せしむるものにて本月二十七日迄に取捨め來月匆々從業せしむる筈なりと

◉京畿產業契の發達

(産業)契は大正三年初めて設けられ契の目的は其の收益を以て契員の產業を圖り兼ねて面經費其他公共事業費を補助するを以てし爲めに一面内の住民を以て一契の區域となし契員は一人大役四円間若しくは金一圓を出資し國有未墾地等に森林の借受及び北緯綏をなして收益を增進するが此事業の本旨なるが京畿道管内に於ける產業契は現在設立數百八にして其の内事業に着手したるもの並に着手後事業の進捗せしもの數から十今日迄の事業の成功又は進行中のもの[illegible]

◉露國大使退京

新任駐日露國大使クルーペンスキー同一等書記官エピッコツ兩氏は豫定の如く京城見物を了へ二十日午後七時五十分南大門驛發汽車にて退京東京に直行したり

◉兩院議員動靜

貴族院議員石渡敏一和田彥次郎の兩氏は二十一日午前九時二十分發元山視察の途に就きしが多分廿三日再び入京すべし

◉藤澤參政官動靜

入京中の藤澤内務省參政官は二十一日午前九時二十分出發元山方面の視察に向ひたるが二十三日再び入京の上北行すべしと

◉望月代議士動靜

朝鮮ホテル止宿中の代議士望月小太郎氏は[illegible]

◉木村鮮銀理事出發

朝鮮銀行理事木村雄次氏は二十一日午後九時四十分發列車にて同行業務課佐藤鐵太郎營業課高橋武夫兩氏を隨へ北支那及び中部支那各地經濟狀況視察の爲め北行する筈なるが往復四十日の豫定にて其の歸任は六月下旬若くは七月に入るべしと

◉隊署長會議

京畿道管内各隊署長會議第二日は二十一日午前八時より警務部構内に於て開會したり

◉大橋主幹歸任

赤十字社朝鮮本部大橋主幹は下の關に於て一行の解散式後郷里熊本に老母を見舞ひ歸途大阪支部をも訪問二十日夜歸任せり

◉二十一日東大屋鐵道局長

二十一日東大屋鐵道局長官は敬意を表し序いで廠浦監獄及び郡の一面役所を視察し十二時發列車にて水原に下り午後九時歸京したり

◉辯明

朝鮮鑛山株式會社創立委員

[illegible]

元山

▲客年貿易額 元山港に於ける貿易總額は大正四年中六百七十四萬七千七百八十七圓内輸移出三百四十三萬九千五百五十六圓にして輸移入三百三十萬八千二百三十三圓十三萬一千二百七十七圓の輸出超過を示し之れを大正三年に比較すれば總額に於て百四十萬四千百十一圓大正二年に比し三萬三千六百圓の何れも增加となり居れり尙ほ遡つて調べ見るも本年の如きは元山開港以來實に未曾有の現象なりとす▲教育費補助認可 過般來總督府に申請中なりし元山學校組合大正五年度教育費補助金は愈よ許可となり今回其内容を開くに一般經費補助として六千五百五十圓實科高等女學校補助金一千圓合計七千五百五十圓の增加にて前年に比し一千八百二十七圓の增加なりと▲遊廓地指定期間 元山理事廳令に依り現在の地域に指定したる元山遊廓は[illegible]成鏡南道警務部に於ては道廳規則改正と共に附を以て大正七年四月三十日迄現在の地域を指定されたるが右期限經過後遊廓地は他に變更移轉するに至るべしと

永興

▲監理者更任 永興學校組合監理者中野綏太郎氏は過般辭任したるを以て今回其後任として小山英兗氏任命されたりと▲牛產 北鮮に於ける牛產は永興郡客年中の生死數と賣高は[illegible]として知られたる北鮮に於ける出生數二千四百五十頭、死數を見るに出生二千四百五十頭、死六十五頭にして前年に比し出生二十七頭の增加、斃死三十一頭の減少を示し居れり而して客年中同郡畜牛販賣高は三萬六千十二頭價額七萬一千七百七十七圓にして[illegible]市場に於ける生牛販路は最近に於て之れが出生數の著しき增加を見つゝあるは喜ぶべし

城津

▲金融閑散 城津港客月中に於ける金融狀況を聞くに牛皮、明太等小口手合せありしも大豆の出廻り著しく減少するに至り市場は依然緩漫の狀態を持續したるのみならず綿布類の相場亂調を呈せる爲め何れも仕入手控の姿となり資金の需要を喚起せず隨つて頗る閑散裡に經過せりと▲貿易狀況 客月中城津港貿易は概して不況なりしもの、如く乾鱈、魚牛皮等の出荷激增し移出總高三萬七千七百餘圓に過ぎず輸移入は日本木綿、天竺布、石油、砂糖を主なるものとし其他合計五萬四百十九圓餘にして昨年同期に比し前者は一萬七千四百十七圓の減少後者は九千四百六十圓の減額を示し居り

平壤

▲魚菜市場近況 平壤魚菜市場四月中の總水揚高は一萬一百圓にして現在の狀況にて進めば一萬一千圓位の水揚あるべしと而して目下鮮魚は鯛鰆等最も多く昨今相場は鯛十貫十三圓五十錢鰆一尾十六七錢の處を上下し野菜は一箇月僅々四百圓位の水揚にて就中葫瓜等其重なるものなり相場は十貫三圓二三十錢胡瓜一本四錢位なりと因みに鯛は群山より鰆は釜山より輸送し來り野菜は下關よりの取引なりと▲中和道路改築 平安南道中和郡中和驛及び本邑間の道路は從來至つて粗惡にて交通上危險を極め居りしが近時地方發展と共に日々人馬の往復頻繁となり交通愈々困難なる爲め郡廳に於ても改修の必要を認め先般同郡李成生外二名をして工費百二十圓にて工事を請負はしめたりしが五月十三日に至り工事竣工を告げたりと▲龍澤溫泉 成川郡靈泉面龍興里より湧出する龍澤溫泉は近來頓に鮮人浴客を增加したり之れが原因は浴槽の設備完備せると皮膚病等に對して特に著しき効驗ある事一般世人の知悉せしに依るとの事なるが四月中の浴客は千八百三十八名の多きに達したりと

開城

▲開城神社 御大典記念として當地有志間に計畫せられたる開城神社設立の件は時宜に適したる計畫として官民全部の好成績を收め寄附金の如き豫想以上の好成績に進捗し神殿は伊勢に注文し拜殿の建築は當地に於て請負に附する事となり不日委員會を開きて決定する筈なりと▲岩間郡書記 開城郡書記岩間重成氏は此度漣川郡在勤を命ぜられ廿二日赴任の途に上る筈也▲白井辯護士 當地には從來一名の辯護士も無く甚だ不便を感じ居りしが昔て當地法院支廳判事たりし白井水城氏當地に來りて事務所を設け辯護士を開業したるを以て一般大に喜び居れり▲御大典活動寫眞 大典活動寫眞は京城日報一手販賣所及び毎日申報支局共同主催の下に愈々本月廿五、廿七兩日夜西本町開城座に於て擧行する事に決定せり

全州

▲全州避病地設定 久しく全州の懸案となり居りし遊廓移轉問題は道次取締規則の發布の動機に促がされ愈々移轉を決行し全州を去る四五町を隔りたる山手なる舟洞と稱する地域を指定し十一月一日より移轉することゝなりたる爲めに現在の銀杏樹通りの營業地は十月三十一日を以て其の効力を失ふことゝなれり▲改良種子普及 全北道廳にては努めて改良種子の普及を圖りたるが昨年地方費の一部を割き各郡に一の採種田を設け種子の交換又は買上を行ひ各地に配付せし結果當今にては平野部方面は進んで改良種子を用ゆることとなりたるも山間部に在りては尙未だ在來種を用ふる[illegible]

大邱

▲慶北移出穀物 慶北輸移出穀物改良組合の調査に係る大正四年四月より同五年三月に至る移出穀物は大豆四萬五千石の豫想なりしに實際は八萬九千九百六十三石の移出を見、玄米は十六萬石の豫想なりしも實際は二十六萬一千二百十一石の移出を見たり是に依て見るも慶北道は將來年々玄米二十萬石以上の輸移出を見る事困難ならず因みに同組合に於て昨年度檢査せる延人員は玄米七千九百六人大豆三千三百六十六人玄米優等百分率四、一パーセント上格八五パーセント下格一〇、九パーセント大豆上格九五、二パーセント下四、八パーセントにて他道に比し上格の多量なるは本組合に於て檢査のとき上格になり得べきものは再調を命ずる結果なりと▲慶北麥作近況 慶尙北道に於ける各地麥作發育近況は近來降雨量比較的多き爲多少發育遲緩の兆ありと雖も今後の天候にして順良ならんには平年作百萬石は下らざる可しと▲明治神宮造營獻金募集 代々木に新築さる可き明治神宮造營費寄附金募集方法に付て大邱府は近火中府内有志の會合を乞ひ協議會を開く可しと

釜山

▲停滯連絡貨物 滿鮮連絡貨物は關釜連絡船々腹の充分ならざるより釜山第一棧橋停車場に大豆豆粕の停滯せる事五六千噸に及びしが過日來より滿洲方面よりの出荷一時中止せしを以て昨今は荷捌のみなるを以て近々一週日を經ずして平準に復すべしと▲日韓市場閉鎖 釜山榮町日韓市場は釜山府廳の經營なりしが今回同方面の土地は總督府に賣却したるを以て閉鎖する事になり十九日より該市場は全く閉鎖せられたり▲追間會頭の招待 釜山商業會議所會頭追間房太郎氏は二十一日午前十時より草梁の別邸公園に會議所議員一同を招き午餐會を催すべしと▲朝鮮輕鐵重役 同社專務佐藤潤象氏は廿日午前さくら丸にて上陸鴨戶支店に投じたるが同日午後十一時發にて京城に赴き大屋鐵道長官と會見し種々輕鐵の件につき打合す所あるべしと

鎭海

▲艦隊兵員上陸 十四日佐世保より鎭海西灣に投錨したる第三艦隊旗艦鹿島、香取、肥前、敷島の四艦は雨の爲め訓練作業の都合上上陸を許可されざりしが十九日午後三時より洞灣陸地近く入港翌日の土曜と翌々日曜日半舷上陸を許可せらるとの事故市内は料理店飲食店旅舘共相當の賑を呈すべし▲景氣回復せん 鎭海要港市街は一時不景氣の極に達し一時人口四千九百餘にまで減少し青島行兼二師行の内地歸還と殆んど其底止する所を知らざる觀ありしが昨年末要港部開廳確定以來漸次增加の傾向を生じ現在戶數千五百三十を算し人口五千五百六十を數ふるに至り尙ほ增加の形勢なれば隨て景氣も幾分回復の見込ありと謂ふべし▲料理店の增加 鎭海料理店は本年三月末を以て連雀町附近を指定區域とし之に移轉を決行せしめられしが昨年第二艦隊入港相當の收益を得たるより鎭海に在りての商業は料理店に限ると爲し一時二十七軒に減せし料亭は目下四十七軒藝妓舞子酌婦を合せて百八十餘名を算するに至れり

統營

▲鯖鰯の漁期 鯖、鰯の漁期節に入り統營巨濟島の昨今著しく賑ひ始めたり▲赤愛委員部發會式 來る二十八日統營小學校に於て赤十字愛國婦人會委員部發會式舉行實會、模擬店、餘興として素人角力、鮮人射弓あり夜間は赤十字に關する活動寫眞を撮影すべく本部へ交渉中又婦人會の演藝、活人形等を催さんとて其々準備中の由▲道路改修 大邱統營線二等道路の内統營郡内改修工事も其大部分竣工し六月末までには完成の見込み統營港唯一の背面通路も茲に開通を見んか當港の發展顯著なる可きを期待せらる又之れと同時に巨濟、長承浦間三等道路も同時期に完成する由巨濟島内に於て車輪の響を聞くも近きにあらん▲普通學校夜學會 統營公立普通學校に於て夜學會を催し目下甲組乙組の二組とし百三十餘名の會員あり國語算術修身等を教へ尙甲組は普通學校卒業程度の者を會員とし法制の講話をも加へたり▲統營工業傳習所 元郡立工業傳習所なりしを本年四月より道廳所管に變更し規模を大にすべく目下其々準備中なりと

人事消息

▲伊澤修二氏(貴族院議員) 二十日夜入京立花師團長邸へ
▲中村純九郎氏(貴族院議員) 二十日夜入京倉島別邸へ
▲矢野久三郎氏(釜山稅關長) 廿一日朝出發歸任したり
▲江橋活郎氏(法學士) 廿日夜入京京城ホテルへ投宿
▲泉末吉氏(鮮銀釜山出張所長) 二十一日出發
▲ダアリユ、ヒークマン氏(英國人) 廿一日午前入京朝鮮ホテルへ
▲クフトレル氏(京城駐在獨國副領事) 廿一日朝長崎へ
▲李俊翊氏(男爵) 二十一日朝水原へ
▲東洋協會専門學校職員生徒一行二十三名 二十一日朝水原へ
▲宋秉畯氏(子爵) 二十日午後水原より歸京
▲岡本正夫氏(咸興地方法院長) 二十日午後入京山本旅館へ
▲私立中央學校職員生徒百十六名 二十日午後仁川より歸校
▲祥雲晩成師(曹洞宗宗務院主事) 恩師武田和尚道掉台參列の爲め廿二日午前九時南大門發の豫定

□晋州より

井出台水

昨暮からし海著して降られ
八專とやらにて雨降られ閉口致候
降るからに夏布闘重ねたり

(第三版) 列車發車時間表 (南行) (北行) [illegible]

……今日は嬉しい日曜日……（南山公園にて）

◉愈重石は下落した？
原因は何＝今後何處まで下る　仲買の商略か＝鑛石の過剩か

去る四月一日朝鮮鑛業令の實施前後から猶も杓子も重石で一時は持切り恐らく人氣の絶頂にまで登り詰めて居た此重石の値段が一

▲亞米利加で暴落 したといふ報が京城に傳はつたのは最早一箇月も以前の事であつた。其當時は此報の出所が亞米利加であるとかイヤ横濱であるとか受取つたのは、三井物産であるとかアーレン商會にも來たとか其等の出所と受取つた店などにいろ／＼な想像を逞うして其陰には商略も潜んで居らう仲買人の驅引もあらうなど、噂は噂を生む一方には

▲出願の許可が濟む まで には今は尚三四箇月を要するといふ有志家連はシンジケートを組織しようといふ議を起す、それが物になりかけて鑛山株式會社の發起人會までも濟ます段取に進んで居る併しこんな人氣の重石も市場の相場は致方たい此頃では愈々下落といふのが確かめられたといふそれならその原因は何か今後は何處まで下るか？こんなことを三井物産と高田商會とアーレン商會とに問合せて見た

▲紐育に問合せ中 ‖三井物産笠原氏談‖ タングステン相場は近來非常に下落しました、只今も此の通り方々からの來客でいろ／＼お話致しをる次第ですが原因は目下紐育に問合せ中です、何れ詳細のことは二三日中に判明することゝ思ひます

▲契約先は元の値 ‖高田商會澁谷氏談‖ 重石の相場は先般來どうも氣配が弱りました、店では從來の契約先きたれば相當の値段に申し受けて居ますが新らしいお客にはお氣の毒乍らこれまでの値段に買ひ進みません、下落の源因はいろ／＼なことに起因して居るだらうと思ひますが此の月末頃には更に暴落することゝ思ひます昨今では先づ上物十五圓位ゐが關の山かと思ひます、元來今迄の値段が無類の天井相場だつたので昨今の弱氣は蓋し當然のことかと思ひます

▲噸千圓が相當 ‖アーレン商會主談‖ 元來朝鮮の重石相場は一噸一千圓が相當だらうと思ひますが夫れが最近までに漸次騰り上つて一時は私の店でも六十五パーセント一噸五千四百四十圓を支拂つたこともあります、併し此の天井相場は決して一部の人に豫期されたの如く重石の拂底に原因したものでは無かつたのです、米國では最近二年間に於て

▲全需要額に餘 るほどの鑛山が採掘され且つ普通の相場で取引されてありました、併し不幸にもこれ等の大重石鑛山は何れも獨逸人の手に經營されてありましたので戰亂以來僅かに獨逸本國へ輸送される他は總て市場に賣り出されるとが中止されてありました、其處で米國の大製鋼會社や軍器製造工場は何れも他所に向つて重石鑛を求めなければならぬ立場となりましたが英國及びその植民地は

▲各自國の消費 に不足する位ゐ、佛蘭西も亦同じ情勢の下にあつたので米國は遂にこれを葡萄牙、日本及び朝鮮に求めるの外なかつたのです、然し求められた重石の量は極めて僅少だつたので相場は遂に最近二週間前の如き大天井相場を現はすに至りました當時英國では一パアセントに就き卅九圓を唱へ米國では實に一パアセント百圓といふ奔騰相場を示しました、然るに最近米國では全國各地に於て

▲重石の大貯藏品 が發見せられそれが國外に密輸出をされつゝある事實が暴露されました然もそれは獨逸政府の財産だといふとが解りましたので政府は茲に所有者に向つて其れを抑留されるかまたは市場に放賣するかの二つを撰べと申し渡した譯で所有者は遂にこれを放賣するとに決しましたので遂に

▲最近の大暴落 を招きました、此の額は實に總計六千噸、米國に於ける全製造工場一箇年の需要に餘る程の多量なものであるやうです併し目下重石相場はまだ／＼最低値段に觸れて居ない、それは目下の情勢では從前の注文に係る賣買契約が漸次充されつゝあるから若し只今の注文が全部供給された後は暴落は今より一層酷からうと思はれます、私の見込では來る六月十五日頃には一噸二千圓の相場となり更に本年末には一千圓に下落する者と思ひます

□皇后陛下行啓

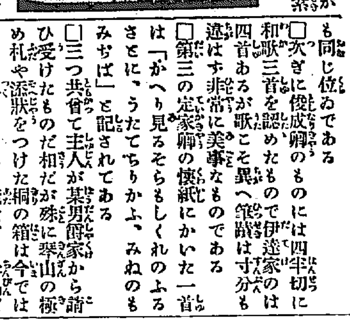
廿四日愛國婦人會總會へ 皇后陛下には二十四日午前十時宮城御出門日比谷公園に於て開催さるべき愛國婦人會今期總會へ行啓あらせらるべき旨十八日仰出されたり（東京）

□水越家の珍藏
▼西行法師筆の小色紙　▼定家卿の懐紙の和歌

□道回伊達家の入札にあつた骨董品の中で鮮銀水越理事の所藏品と洵によく類似したものが三つある

□先づ最も酷似したのは西行法師筆の小色紙「いはひつゝ」と同じ大きさで「おなしたいりのうた、たいつり」と題したものである

□歌は「いはおろすかたこそなけれいせのうみの、しほせにかゝる、あまのつりふね。」と書いてある


水越氏所藏西行法師筆小色紙

□表装は伊達家のが茶色印金の中が萌黄金襴地であるに比しこちらは紫地印金の銀入緞子となつて居る、そして幅、長さ共三寸ばかりで大きさも同じ位ゐである

□次ぎに俊成卿のものには四半切に和歌三首を認めたもので伊達家のは四首あるが歌こそ異へ筆蹟は寸分も違はず非常に美事なものである

□第三の定家卿の懐紙にかいた一首は「かへり見るそらもしくれのふるさとに、うたてちりかふ、みねのもみぢば」と記されてある

□三つ共曾て主人が某男爵家から譲り受けたものだ相だが殊に翠山の極め札や添狀をつけた桐の箱は今ではとても作らうとして能はざる珍品だ相な

◉太刀山休場乎
三日目宇部と角力中負傷

太刀山は三日目宇部宮との相撲中左手の藥指を痛めたるもそのまゝ例の元氣にて取り續け遂に宇部を突出したるが二十一日四日目の出勤は如何あらんと危まれつゝあり（二十日發東京特電遅延到着）

△五日目の取組

四海波（宮城山）　藤の川（柏戸）　岩木山　紅葉川

逆鉾（龍ケ崎）　黑瀬川（金の花）　小常陸（敷島）　石山

栃木山（大錦）　玉手山（鳴門洋）　西の海　浦の濱

△中入後

朝綠（稲葉嶽）　稲の穂（眞砂石）　大の川（土州山）　玉の川（寒玉子）

梅の川（兩國）　鶴渡（千年川）　釋迦嶽　大蛇潟

對馬洋（宇都宮）　大鳴門（伊勢濱）　九州山　太刀山

右の中若木山紅葉川は本紙の勝負豫想懸賞角力なり

△朝潮休場

朝潮は豫ねて痛めたる頸部の痛み再發したるため四日目より休場したり

御大典活動寫眞

□馬山　廿二日夜間　廿三日晝夜

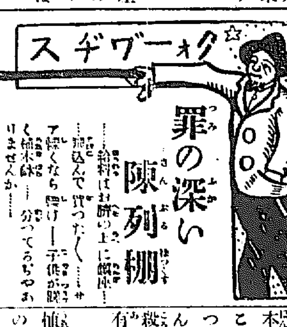
京城日報、毎日申報の現購讀者は各等三割引のみならず同時に二等入場券四枚購入の方には御希望に應じ兩紙の中一つを一箇月間無代進呈

□番外＝實寫物＝滑稽物＝西洋奇術等

主催　京城日報支局　毎日申報支局

◉助產婦生募集

總督府醫院にては今回助產婦科生徒十八名を募集し三十日入學試驗を施行すること



罪の深い陳列棚　本町にて　田目吉

日曜の晴天は近來のレコード破りであるから京城の銀座通り本町はイヤモウ非常の雜踏殊に頂戴した給料はまだ何處へも拂はずにお臍の上に鎭座在しますが故に今日こそは店先の硝子戸に居付けたお出額も萬更見ばかりでも有るめいなどと他人事ならず景氣で本町に這入つて行く今日は何んだか

◇馬鹿に景氣の好い 様な氣がして堪らねイオイ／＼姐さん何んの態だい指環などをそんなに眺めて居ねいで飛込んでサア買つた／＼…三越の前へ行くと茲にも三人連れの女が陳列棚の硝子へ涎を流して居る可哀相に…お前樣の結んで居る帶よりもあ…

▲御前の方が餘程上等の樣 ▲御前の奴も店の奴だ

そこに飾つて居る見れも惜ないのに彼んな物を並べ立つて見せびらかすなんて罪な話しだなんぼ淀に相場が無いからつて蛙の子ばかりは流す方の身にも成つて見ればいのに、大變な同情を表して其處を立去ると小僧が自轉車を擔者の方へ向けて驅走して來る馬鹿に

◇八釜敷くベルを 鳴して居やがる、奴、さあ乃公を擽くなら擽いて見ろと云ふ氣に成る何んだつて此んな狹い路をウヌ獨り領分の樣にベルなんか鳴らして通りあがるんだ神妙に默つて避けて通るものだ又後から車夫の奴がオイとかハイとか喚鳴る何だつて貴公は通行人を滅多矢鱈に叱り付けるんだい

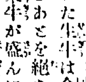
▲誰れから共んな特權を ▲與へられて居るんだい

モウ少し優しく物を云ひねヱさう無暗矢鱈に人に當り散すには及ぶめねヱ本町を歩いて居るとまだ／＼不平はこれんばかりぢやあねヱ一體何だつて斯んな狹い道に大きな大八車なんぞを曳き込ませるのかい、毎日轢殺されさうな危い老人や子供が何人有るか分りあしねヱ——

◇そら危い見なさい 植木鉢なんか道の端へ出して置くのだから子供が躓いて暗めつた斯んな時に若し荷車でも曳き掛け樣ものなら子供はほまれ麥の樣に平らつたくなつて終ふおやあないか。塚谷の處まで行くと蒲茶縞のネルの單衣を著て居る

▲若い娘さんがチヨイ／＼ ▲亭主の跡を追つて居る

「貴方何處まで行くの歩くばかりぢやあつまらない事よ「どうすりや好いんだい「分つてるおやありませんか今のを「馬鹿に高いおやないか」斯んな内證事を大道の眞中で御相談に及んで居る（つゞく）



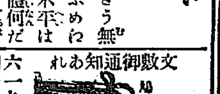
むかし城津から浦鹽へ輸出された牛は今では殆んど跡を絶ち代りに山東牛が盛んに行く、牛をもつて誇りとした北鮮も一…△京城の頃は名士の來訪に忙殺されて居る、…を要する次第である△むかしから朝鮮の初夏と初秋とは最もお客の多い時季である相な△天下の武田和尚の第七回忌豫修式がこの二十三日午後五時から龍山瑞龍寺で催される和尚が今頃居たら長江の流れや蒙古の月に嘯くであらう△聞く所に依れば龍山鐵橋起工式は來る廿七日頃執行されるであらう△昨今府尹邸の牡丹が初夏の日に驕つて咲き亂れて居る花には紅あり純白あり淡紅色あり何れも數十年の老樹、素空總監の句に曰「金なくも庭一ぱいの富貴かな」

■東京大相撲夏場所星取表
（表中○勝●負×分△預や休）

東の方	
西の海	○○
大錦	○○○
對馬洋	●●○
栃木山	○○●
兩國	●●○
九州山	○○●
源氏山	ややや
宇都宮	●●○
釋迦嶽	●●●
紫雲龍	ややや
小常陸	○●○
近江富士	●●●
岩木山	▲●●
大の川	●●●
宮城山	●●●
梅ノ川	●○●
朝綠	●○●
稲葉嶽	●▲●
四海波	×●×
龍ケ崎	○●●
玉の川	○●▲
逆鉾	○○○
綾川	やや●
勝星	二十三
負星	三十三

西の方	
鳳	ややや
太刀山	○○
伊勢濱	○や○
大蛇潟	●○●
浦の濱	▲○●
石山	●●○
大鳴門	○○○
玉手山	●○○
八甲山	○●●
鳴門洋	●●●
鶴渡	●●○
金の花	○▲●
黑瀬川	●●○
寒玉子	●●○
眞砂石	○○○
千年川	○○○
土州山	●●▲
稲の穂	○●×
紅葉川	●●●
明月	ややや
柏戸	×○○
敷島	○○○
朝潮	○○○
勝星	三十四
負星	二十三

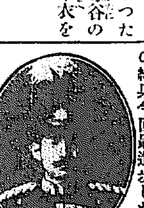
文數御通知あれ



ゴム底輕便靴　德用丈夫　學生吏員自轉車用旅行運動野球勞働用に適し足痛なく高評各階級に多大也　特價六拾五錢　甲品七十…　送料共三足以上代金引替…　五錢郵券代用一割增…　包諾時は返金す振替大阪一二…　大阪南區瓦屋町　日野商店　六一九番

わきがの藥　……人のいやがる……

◉音尾博士の發見　▲ハガキで申込化學療法書無代進呈す



陸軍一等軍醫音尾博士先生は男女わきがの人に氣の毒に思ひ數年間苦心研究の結果今回最進歩したる「チゼン液」と云不思議にヨクキク藥を發見致しました今迄いろいろな無責任なるありふれた山師的の賣藥にて効無く此病氣は不治病と絶望悲觀せる人も彼是ご迷ずに一日も早く此化學新療法にて全治の嬉しき御身となられよハガキで申込次第直に説明書進呈す　東京府下淀橋町柏木百貳拾番地　東京博愛藥院

廣告　弊社儀多年藥品製造業及馬糧請負販賣業並に土木建築請負業を營業致居候處今般都合に依り大正五年參月十五日限り廢業致候に付き此段謹告仕候也　京城竹添町二丁目十六の三　力行社　營業主　李鍾爽　曹秉瓚

消毒全乳設備完全　大邱　吉田牧場　錦町　電話四三番

藥効確實、診療部開始　需用激增、製藥所新設

胃腸病胃癌の妙藥●村井弦齋先生發見

タコラン湯

●藥價一週分壹圓　二週分壹圓九拾錢●送料六錢　臺樺廿錢●朝支卅錢

タコラン散　價　十回分貳拾錢　二十八回分五拾錢　六十回分壹圓　送料貳錢四錢

東京下富坂町廿番地 市小石川區　無量壽藥園　電話番町四一三八番　振替東京二〇〇二一番

醫化學諸器械一式　Ⓚ　仁川本町　北島藥店　電話三三四・振替京城六七番　京城永樂町本町角　北島藥店京城支店　電話七六一番

藥種賣藥卸商

■相場表御申越次第送呈す　和洋製革問屋　東京市神田區田代町　唐澤商店　電話下谷五一六八番　振替口座東京七九一七番

和洋製革　靴底附屬品壹式　大販賣

氷道具一切新荷著　硝子食器　硝子製品一切　舶來食器類　菓子水飴器　硝子製ハイトリ器瓶　京城本町二丁目　卸商　長門屋商店　橋本信次郎　電話一三二番　振替京城一八七三　●特別大勉強仕り多少不拘御用命願上候

開店披露　私儀永らく「糸岐商店」へ勤務致居候處大方皆様の御引立に依り今般左記の處へ開業致し廉價と確實を旨とし御得意様の御便利を相圖り可申候間多少に不拘御用命の程伏て奉願候　各種時計貴金屬品眼鏡類　懐中電燈販賣並に修繕　仁川宮町　廣瀨時計店

◉活動寫眞機械　百圓以上各種其他同フイルム長短各種　中形家庭用青年會用活動寫眞幻燈器用器　械卅圓以上同小形七圓寫眞附各種

◉幻燈器械各種　◉朝鮮人指導通俗衛生　各說明書　◉朝鮮人啓發通俗教育　附貳拾枚組　◉同　教育勅語行義　壹組金六圓　▲其他日本歷史教育衛生宗教戰爭等各種　▲目錄表進呈送料二錢要（品名記入）　大阪西區新町通二丁目　寺田清四郎商店　電話西四三二一番　振替大阪一九三二番　福岡市中島町（電八七九）寺田九州支店

移轉廣告　弊樓儀從來旭町三丁目に於て開業御愛顧を蒙むり居り候處今般左記に移轉し弊樓の特色たる御手輕こ且つ一層親切町寧を旨とし勉强可仕候殊に今回の場所は綠翠滴る南山と相對し眺望頗る宜敷候間初夏の御散歩旁々御立寄りの程待入候　敬白　京城南山町二丁目（元喜久家下）　鍋道樂　電話一四九番

天氣　晴一時曇　五月廿二日

◉組合員横領有罪　全北全州…

◉鍾路署ご夏季衛生　京城…

◉連絡船上陸客　二十日午前…

●朝鮮婦人の女醫志望

「侯爵朴泳孝氏の一族」

今年から總督府醫院内に醫學専門學校が設けられて一般朝鮮青年のお醫者も出來て參りましたがまだ朝鮮婦人の女醫は無いやうです、併し東京牛込區河田町の女子醫學專門學校には目下六名の

▽朝鮮女學生が眞面目に勉強して卒業のうれしい日を待つて居ます、中にも二年級の朴貞子（二〇）と云ふ人は學業も優れ何處となく犯しがたき氣品をそなへて居ますので同級の友達から敬愛されて居ますが此の人は道理こそ侯爵朴泳孝氏の一族であります、貞子さんは京城の淑明女學校を卒業した後

▽東京に參りましたが幼い六歳の頃にはお母さんを失ひ十五歳の年にはお父さんに死別れました侯爵は實に貞子さんの叔父さんでありますけれども一時は陸軍少佐朴斗操といふ叔父さんの宅で養育されました、兄さんには辯護士や鑛山に勤める人もあつて今は非常に幸福な生活をしてゐます

◉文學ものよりも學術家庭向き
…京城婦人の讀書趣味…

□京城は女學生の方が尠なうございますので若い人達のお讀みになるものは小數ですが官舍の奧樣方はなか〳〵高尚な讀書趣味を有つてゐられます

□最近最もよく賣れましたのは「母の道と育兒」といふ書物でしたが一般に文學ものよりも學術家庭實用向きといつたものが多く出るやうです

□雜誌では婦人世界第一で次は婦女界、婦人の友、大陸婦人界等ですが女學世界なども割合によく讀れます

□其の他料理の友とか裁縫講義錄とかいつた風のものも盛んに讀まれて居ますが頃日の奧樣方は割烹にはなか〳〵熱心に御研究のやうです

□また夏になりますと活花の本なども よく出ますがお習字はまた鵞堂先生春堂先生などのものがなか〳〵よく賣れます

□京城の外國婦人はいつもよく文學ものをお買ひになりますが朝鮮の女學生もちよい〳〵習字本とか文學書などを買つて行かれる方もあります（大阪屋書店談）

□西洋婦人の著物は
□色と形が美しい日本は綺揃が主□

□日本の婦人はどうも著物の色の取合せが下手なやうです、尤も西洋の著物が色と形とを主として居るのに反して日本の著物は縞柄を主としてゐるといふ相違から來てゐるのではありませうが、それにしても少し色といふものに對し日本婦人の眼が開けてもいゝと思ひます

□日本の著物は綺揃が主で帶は帶と一つ宛離して見た場合には色なり縞がらなり非常に優れたものが多いのにそれを一人の女が著ると一向見榮のしないものが多いやうです、

□そこへ行くと西洋婦人のは一つ一つ離しては何の奇もないものが取合せると實にしつくりよく似合ふやうに著こなして居ます、

□この點については實に巴里の女に及ぶものはありません、巴里の街では往來を歩いても婦人の服裝で花のやうです

□また外國の婦人はめいめい何處かに違つた所をもつて居ます、例へば袴のうしろを一寸つまむとか袖口を少し廣くするとか襟をレースで飾るとかいろ〳〵自分々々で工夫して居ます

□日本婦人は常に人目に立たぬことをのみ心掛けて居ますが外國婦人はこれと正反對に人目に立つやうに心掛けて居ます

□派手な著物といふとは一種浮薄とも思はれますが婦人の趣味眼が發達すれば浮薄に流れないで十分美しく華やかな服裝が出來ます外人の服裝は日本人以上に金がかゝつて居ないとはこんな點にもよるかと考へます（某婦人談）

□散歩家列傳（三） めちや吉

C氏＝毎日缺かさず相變よく他家のカーテンを見に來る若い人がある。他に急ぐ樣子もなくブラ〳〵歩いてゐるからこれも散歩家の一人だ、但し此人の散歩は散歩の爲めの散歩でなく或る目的に附隨した副産物的の散步である。無斷で他家の窓を覗き裏門を窺ふからと云つて、靴ステッキを失敬しようと云ふ樣な卑しい人間でもなく、それかと云つてカーテンの研究者でも勿論ない。誰か一人にもチルの服裝を美しい帶とを發見する事もあらうと、他所の窓先を訪問する事を日課として居る篤志家である。

□婦人のはたらき

今月末に定礎式を擧げようとしてゐる旭町二丁目の京城與聖堂は約一萬圓の資金を投ずることになつて居ります、そして其大部分は信者が十年計畫で醵出した信施金であります、中にも同教會の婦人會では毎月第二第四の金曜日をお仕事の日と定めて、午後一時半から内大門のスミス夫人方に集び、米國の手袋その他の手芸品や簡單なレース類の共同作業をして居ります、今年の十月頃には立派な石造の聖堂が旭町の空に聳ゆることになりますが、その内にはこの樣な繊弱い婦人の手で開いた力が含まれて居るのであります

◉高女の記念日

京城高等女學校では來る二十一日が第八回の開校記念日に相當するので當日午前は講堂で記念式を擧げ其より職員生徒の野遊會を催し漢陽公園を經て南山の頂上に登り城壁づたいに獎忠壇に降り同所で各自辨當を開きて歸校午後は祝意を表して休業の筈なりと

◉京城高女の同窓會

京城高女學校同窓會にては二十三日午後より第八回の總會を開き醫院學務局長の講演ある由にて會員百五十名の豫定なるが當日は同窓會員

◉學校教員家族會

京城西大門教育俱樂部では來る二十一日の日曜日午前十時より京城府内小公立學校教員の家族大會を催します此の催しは俱樂部開始以來初めての企にて當日は約五百名からの家族が集ります會の順序は午前十時に參集して十一時に開會先づ有賀理事長の開會の辭に次ぎ直ちに餘興に移り餘興は三遊亭圓遊の落語だので二時から庭内で撮影を行ひ各自持參の辨當を開きます撮影が濟むと直ちに家族の兒童のために運動會を催し再び餘興があつて閉會となります一同在校生時代に若返り各自思ひ〳〵の餘興など出して半日を樂しく暮す由

上野 花柳病醫院 內科外科 南米倉町朝市場通仁濟病院跡 （入院隨時） 電話二九三四番

神社と教會とお寺

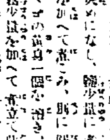
△本能寺布教所（鍋水洞） 恒例の涅槃月例會二日布教のため廿二日午後二時及び午後八時より說教あり

△龍山興國寺（元町一丁目） 二十二日午後一時より稻荷大祭執行二時より筑前琵琶あり八時より說教二回說教あり

△龍山瑞龍寺（元町） 二十三日午前九時より故武田和尚の七回忌執行多數有志の參拝あるべく猶ほ入京中の内田良平氏も參拝すべしと

△會いろ〳〵▽

▲卑青研究會 南米倉町漢城高等法院長の邸にて來る二十四日午後一時半から開催入會の堅青研究けが出席します



回英豌豆 英豌豆の筋を取り鹽少量に煮出し炎めになし、鍋に鹽へなかへて煮こみ、タマゴの黄身一個を溶き、是に鹽少量を加へて煮立て其中へ煮切り器へもりて用めます

回英豌豆の油炎め 英豌豆の筋を取り油にて炒めた後に煮汁と醬油にて汁なく作り、この中へ煮こみ器へもりて用めます

番茶のあとさき

花よりも

◇まづ木村屋のパンの味 京城明治町木村屋 電話二八七〇番

◇山口縣出身の中田伊勢吉といふ人は十三年前から米國ロサンゼルス市に渡航して商賣して居たが先年日本で可愛がられる佳良な取りよせて米國人に賣り出したところ大變な人氣でお金を儲けました◇最近支那の各地方を視察して來た人のはなしによれば支那の青少年たちの運動器具は全部米國から輸入されて今年になつてから輸入した額でもすでに十萬圓に上つて居る相です◇小供が躑躅の花をたべるといつて驚いたやうなことが内地人の新聞に記されてあつたが朝鮮人の小供はよく此の花をたべます紅い花をたべるとは一種詩的でおもしろいと思ひます

肺病良劑 金氏煎

本劑は從來の「クレヲソート」又は「グアヤコール」系統以外獨特の新製治肺劑にて防腐殺菌と健胃強壯の作用を有し痰を去り咳を鎭め食慾を進め榮養を增加し熱を去り盜汗を防ぎ安眠を得せしむ結核〇肺尖加答兒〇肋膜炎〇氣管支炎〇等に卓效あり
◉封入希望者の御申込あれば無代送呈す

東京市下谷區上根岸町 日本製藥研究會

痛くて堪らぬ齒痛の時 スグおつけなさい!!

今治水 の驚くべき奏效

島村醫學博士有効證明の「いたまなをるはくすり」今治水は齒痛一切に非凡なる特效あり!!

（主）◉むし齒の痛 ◉齒の根の痛 ◉はじしの痛
（效）◉神經の痛 ◉腫の痛 ◉浮上る齒の痛 ◉齒痛

價十錢、廿錢、消毒綿及ピンセット付
本舖 大阪心齋橋 東京淺草 丹平商會藥房
全國到る處の藥店に取次販賣す

◉開業御披露

桃は氣まゝに山吹も見はてぬ中に春は過ぎて一面の青葉の林と成りました時に舊旭橋通り和歌の家跡を讓り受け名もあら玉と改めて十八日より開業致しました料理は山海の珍味を撰び藝妓仲居等も親切叮嚀を主として御待遇申上げます程に巡る月日も幾久しく春の如く御心安く御贔負あらん事を先はあら玉で御願致しますかしく

追而漢江通り新玉旅舘は從前通り營業致居候間倍舊の御引立の程願上候

龍山元町二丁目旭橋通 會席料理 仕出し あら玉 電話三八一番
店主 犬走藤一 藝妓仲居一同
四方御客樣

こんなよい子供

の出來たのは、命の母が子宮病、血の道に身體が丈夫になつたからで、すると身體を健康にするには北高佐藤醫學士の書かれた

婦人病者の心得

を是非お讀みなさい。本書には婦人病の原理から婦人病一切の治療法が詳しく說明して有升之は本家へハガキで申込次第無代進星

女子出產の禮狀 福岡縣田川郡上野村 内山あつ子

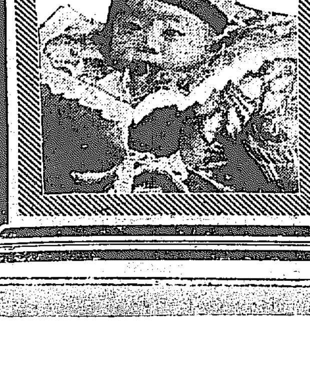
健男子を產む感謝 岩手縣 香川龍三郎君愛兒

愛兒を擧げた 小倉市魚町 昌田百合子夫人愛兒

女子分娩の喜び 福岡縣田川郡上野村 内山おつ子夫人愛兒

男子出產の感謝 武州飯能町 二重塚 横田貞二郎君愛兒

男子分娩しました 紀伊國湯泉 金谷安一郎君愛兒



早く試み玉へ

●白帶下なか血に苦しむ人
●腳腰冷えて頭痛する人
●子宮病にて下腹の痛む人
●逆上にて脊肩のこる人
●ヒステリー血の道の人
●月經滯り或は不順の人
●つわり又胸先へ差込む人
●卵巢炎や輸卵管炎の人
●浮腫痲れ痛氣の人
●腦神經衰弱の人
●貧血顔色惡き人
●頭痛眩暈に苦む人
●痲高ぶり、心悸亢進の人
●安產肥立ちを望む人

命の母 子宮靈藥 東京笹岡家

東京京橋區新榮町四丁目一番地
本家 笹岡省三藥房
振替東京五〇五〇番 電京二二〇一番

女のくすりで一番よくきくのは命の母です

ソレハ何故……曰く
第一流の藥學博士 下山先生が

命の母は

婦人藥こして坊間に存在せる諸藥劑に比して卓絕せる効驗あることを余は證明す

これぞ婦人の最良藥

命の母藥價

二日分 廿五錢	加減命の母
七日分 八十錢	五日分 八十錢
二週分 一圓五十錢	十日分 一圓五十錢
五週分 三圓	廿日分 三圓
	二ケ月分 五圓

買方

到る處の信用ある大藥房にて發賣せり。品切れの時は本家へ申込次第送る

御注意

命の母には數種の加減藥がありから本家へ申込時は容體明記あれ

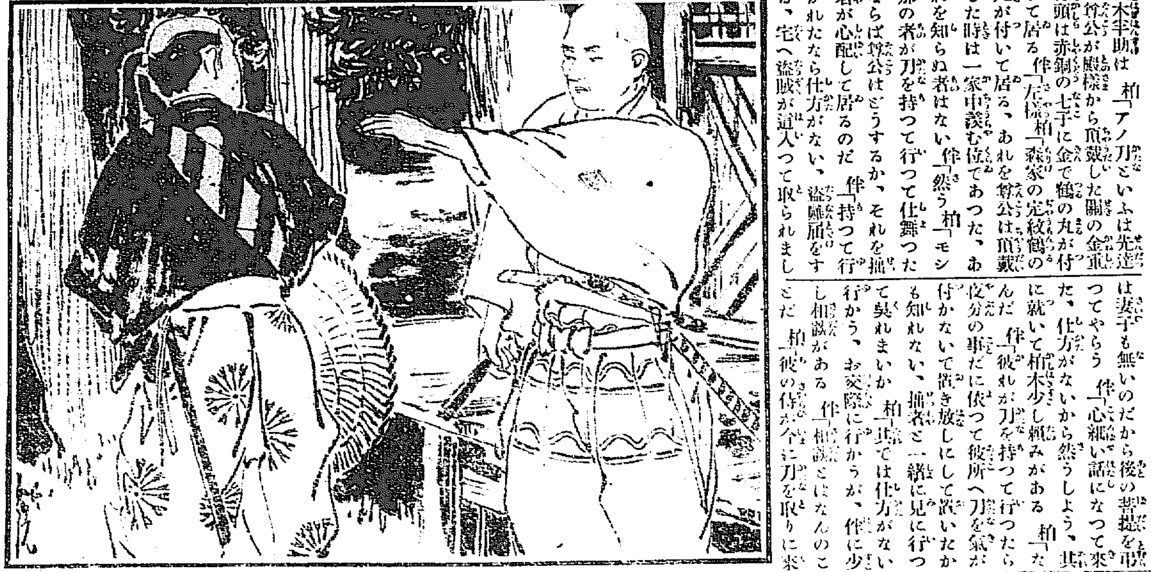
◉誤つて井戸に墜つ 京城グラウンドにて擧行す可し尙大會に…
◉公判に附せられたり
◉鍼灸名家來る

宮本武藏

第四十五回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

柏木半助は 柏「アノ刀といふは先達て尊公が殿様から頂戴した關の金重、縁頭は赤銅の七子に金で鶴の丸が付いて居る 伴「左様 柏「森家の定紋鶴の丸が付いて居る、あれを尊公は頂戴した時は一家中羨む位であつた、あれを知らぬ者はない 伴「然う 柏「モシ那の者が刀を持つて行つて仕舞つたならば尊公はどうするか、それを拙者が心配して居るのだ 伴「持つて行かれたなら仕方がない、盗賊廟をする、宅へ盗賊が這入つて取られまし



た 柏「侍たるべきものが殿様から拜領した刀を盗まれて知りませんでしたと云ふ事が云はれるか 伴「それは不在宅へ賊が這入つて取られましたと云へば宜い 柏「若し彼者が町奉行所へ出て二里八町の松原の女夫杉の處で是々のことがありましたと訴へた時はどうするか、拙者は心配だ、其時に此刀が落ちて居りましたといへば、之は伴兵藏が殿様から拜領した刀だといふことは皆な知つて居るから直ぐに知れる、それから其時に切掛けたのは二人でございましたと向ふの奴が有體に訴へ出たら何うする 伴「柏木、さう不用ないことを言つて呉れるな 柏「訴へた者は二人と申しますけれども一人は影法師で全く私一人であると尊公が一人で脊負つて仕舞ひ給へ、因果一杯に尊公は妻子も無いのだから後の菩提を弔つてやらう 伴「心細い話になつて來た、仕方がないから然うしよう、其に就いて柏木少し頼みがある 柏「なんだ 伴「彼れが刀を持つて行つたら夜分の事だに依つて彼所へ刀を氣が付かないで置き放しにして置いたかも知れない、拙者と一緒に見に行つて呉れまいか 柏「其では仕方がない行かう、お交際に行かうが、伴に少し相談がある 伴「相談とはなんのことだ 柏「彼の侍が今に刀を取りに來るだらうと彼處に置いて待つて居るかも知れないが、それも何うも仕様がない 伴「其時にどうするか 柏「何んでも構はないから逃げやう、尊公と拙者の二人が切り付けても敵はないと云ふことは分り切つて居る、勝てないといふことは見込が付いて居るから、彼れが居たらば逃げ出すとしよう、若し尊公へ切付けたならば拙者が逃げる、拙者に切付けたらば尊公は逃げ給へ 伴「それでは往つて見よう、彼れが居ないで呉れゝば宜いが」と段々參りまして女夫杉から七町ばかり離れた處まで二人が恐々やつて來た、來ると 武「待てッ……」と突然足元へ飛出した、それ逃げろといふので二人は無茶苦茶に逃げ出す、天狗待て――天狗待て――一生懸命に二人はドン〳〵逃げて仕舞つた 柏「モウ善い……伴 伴「又伴々といふ、默つて來ないか」と向ふの小さな森の中に若宮八幡といふ祠がある、それツと云つて喜連格子を開けて這入つた 柏「後を閉めて置きなさい、心張棒をかつて仕舞へ 伴「心張棒などは有りはしない 柏「不用心の八幡だなア 伴「時に驚いたなア 柏「足元から出たが、何んでも端で冠つて居たに相違ない、ア、實に吃驚した」と二人が話をして居ると、奥の方で八釜しい〳〵といふ者がある、兩人は驚いて振り返つて見ると、羽目板に寄掛つて居る侍が一人居る 兩人「へエどうも御免を…… 侍「何んだお前達は、先刻から八釜しいではないか 兩人「恐れ入りました 侍「お前達は劍術修業者か何んであるか 伴「只今二里八町の松並木に掛つて參りますと、實は天狗に出逢ひました、一人や二人なら退治て仕舞ふのですが、三十人も出たものですから、兩人一先づ引上げたのでありますが、どうかお助けを願ひます 侍「其の言葉の通りか 兩人「ハイ 侍「ヨシ〳〵己れが助けてやる、安心をして居るやうに……」と二人は喜んで居るところへ宮本が驅け來つて 武「兩人出ろ〳〵 兩人「先生來ました〳〵 侍「宜しい 武「兩人是まで八九人を試し切りに致したと云ふことを聞いたに依つて天に代つて誅を加へる、兩人其是へ出ろ 侍「モシ何かは知らぬが助けて呉れと云つて私が賴まれたに依つて兩人の命請をする、助けてやらッしやい」と呼はつた、抑も此人は何者か。

入院隨意 (診療夜九時迄)
泌尿器病
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 皮膚病
專門
永樂町二丁目 金光教會隣り
安部醫院 電話四一九番

評判よき夏帽子 東京市馬喰町吉安商店製造發賣の日ノ出印鳥印の夏帽子は麥稈帽子パナマ帽子及小兒用帽子等何れも意匠實質共に優れるため頗る好評あり市内帽子雜貨店にて取扱ひ居れるが賣行極めて良好なりと

實業之日本の面目一新 我國實業雜誌中の覇王たる實業之日本は近來更に面目を一新し新渡戸、澤田兩博士の經營に關する二大雄篇連載せらるゝ外十五大會社の青年社員採用法の方略、繁昌する十五小賣商店の顧客待遇法、除蟲菊栽培の有利、最新の雌雄鑑別法等誌面必要の文字多し

五月廿三日九星
舊四月廿二日庚申
本命六白乾平先勝

演藝案内

櫻井町 大正館 電話八七三
壽町 壽館 電話一〇五〇
本町 御成座 電話二一九一
黄金町四丁目 黄金館 電話二六三七
明治町 浪花館 電話二三六〇
本町 壽座 電話五七八

流經新藥レスノリ
月經
閉止經過四五ケ月以内ニ應用シテ其目的ヲ達スル確實ナル作用ノ流經
一瓶一圓 送費内地十二錢 其他ハ優越 切手代用ハ一割増
發行所 常盤藥院 振替大阪三〇七番 大阪北區曾根崎上二丁目三六地

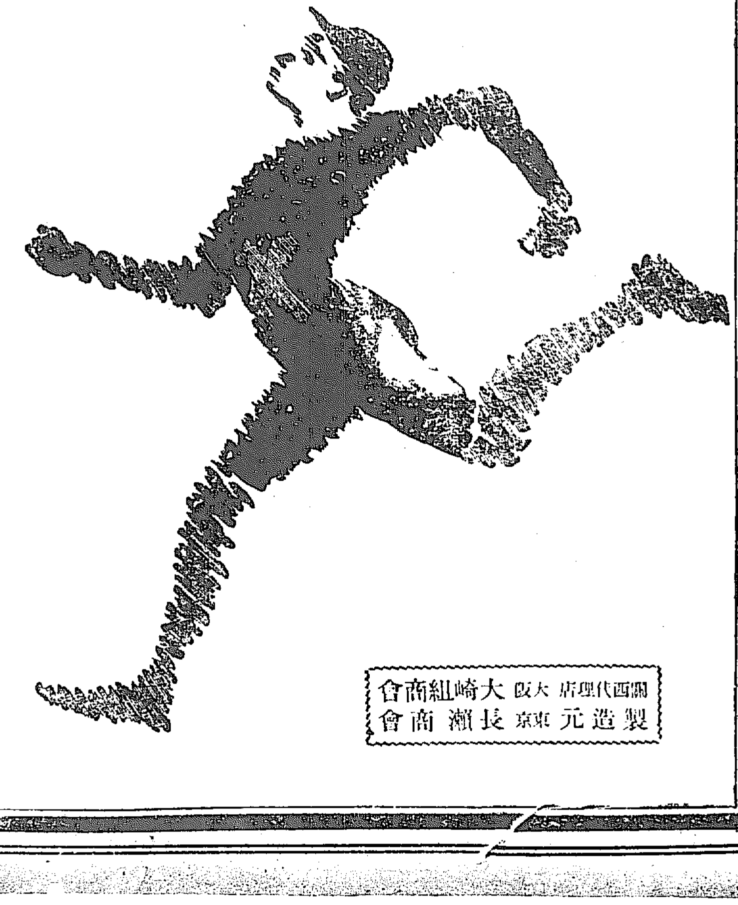
タングステン
大マグネツト中根式用手廻機械は始政五週年記念物産共進會に於て賞牌一枚及褒狀三を授與されたる唯一の鐵工界に於ける最初の受賞者
京城南大門通五 中根商會 電話一〇四番

男性美の發露は

白粉か？ 非ず！
クリームか？ 非ず！
泥粉か？ 非ず！

直覺的にも理智的にも
現代は之に限るといふ

品質本位の
花王石鹼！



關西代理店 大阪 大崎組商會
製造元 東京 長瀬商會

外出の季節
日焦の時候

唯一つ

宮内省
皇后宮職
各宮家
御用品

レート乳白化粧水

レート乳白化粧水さへお使ひあれば、ほかの白粉がいらぬ此の頃、思はず足が外へ向いて、自然外出が多くなりますが、レート乳白化粧水のお陰で、浮脂は忘れたやうに除かれ、日焦けをよく防ぎ、お肌はいつも爽やかな心持で居られます。それで、外出の時には勿論、平生御入浴御洗面の後に是非とも缺かされぬ唯一の美容料として、御婦人は素より、青年紳士間にも、レート乳白化粧水が盛んに愛用されて居ります。

東京 平尾贊平

第三版

京城日報

廿二日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金三錢五厘一ヶ月金七拾錢郵税一ヶ月金十五錢
廣告料　五號活字一行金七拾錢　特別欄內一行金壹圓貳拾錢
發行兼編輯人　眞田直　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

……を先決議題とすべし即ち現下袁氏の……の見込あるも上海會議に於いて南方……たれば政府決心の……側が尋常に之れを承認す可きやは太……鮮は近く南方に對し日時を限りて新政府を解消す可し然らざれば和議を……た堅束なきを以て北京政府は武力解……外務部に……又袁……氏の如きも……和戰決裂の大危險を痛言せる趣なるが其實北京袁政府も武力解決は嫌和……ら不就任を……する程にて其實力は到底北方に對敵すると能はざれば結局議和は成立するならんと北京政府……三四十萬……陸軍省にては內務省の希望により藥價調節の目的を以て昨年度中九月及……結果を見るに至らざりし事實に鑑み今年度分は公入札の形式に依らず一旦之を內務省に保管轉換し內務省より……種其價格三十萬圓內外を……下げ之を東京大阪兩衞生試驗所に於て加……

朝鮮貿易

京城日報

朝鮮の貿易が、近年來頗る順調に發展し、殊に歐洲戰亂以來、頓に出入の均衡に近づきつゝあるは、洵に欣ぶべし。曩にも本欄說く所ありき。

今回の税關長會議に於ける、總督の訓示中によるも、最近兩三年間輸移入額漸次減少し、輸移出貿易の發達特に顯著なるものあり、昨大正四年の實績に徵し、輸移入の減少せるは、歐洲亂の爲め、外國品の輸入杜絕したると、米價低落の爲外國米及び滿洲粟の需要を減少したるを以て、主因とすべしと雖も、朝鮮產業の開發に伴ひ、日常需要品中、之を外國に仰ぐ必要なきに至れるもの、亦少からず。又輸移出額の增加せるは、軍需品供給の如き、特殊の事情以外に、亦著しき增進を見たる理由あり。即ち朝鮮の主要產物たる米穀の如きは、最も輸移出增進の要因たり。單に米のみならず、一般に朝鮮貨物の漸次滿洲支那地方に販路を伸暢するに至れるは、畢竟產業獎勵の效果現はれたるに外ならず。若し朝鮮產業開發の趨勢と、朝鮮貿易の趨勢とを比較對照するに於ては、充分に首肯し得るものあらむ。

試に最近即ち四月の朝鮮貿易狀況を見るに、輸移出價額四百八萬五千餘圓、輸移入價額四百八十二萬五千餘圓、之を前年同月に比すれば、輸移出は五十一萬二千餘圓を增加し、輸移入は二十六萬八千餘圓を減少せり、之を一月以降の累計に見る時は輸移出千五百七十三萬餘圓、輸移入二千五十八萬餘圓、出入合計三千六百三十一萬餘圓にして、前年同期に比し總額に於て約二割の增進を示せり。而して最近の貿易月報によれば、本年一月より三月に至る四半期間に於て、朝鮮よりの輸移出は、米價下落等の原因の爲め、米穀の輸移出前年同期に比し減少を告ぐるものあれど、大豆類、荏胡麻、棉子、海苔、寒天、染料塗料、繰棉、繭、柞蠶絲、鐵鑛、重石鑛、黑鉛等重要且有望なる產物の著しき增進を見る。殊に絲縷布帛品及び布帛品、鑛物金屬の類が最も輸移出增進の傾にあるは頗る注目すべき現象と謂はざる可らず。翻つて輸移入品にありては、穀物種子類を除く外推しなべて增進を示す。然れども輸移出の急激なる增進を告ぐるものあるに比し、輸移入には突飛なる增進を見るもの少なし。之れ朝鮮の經濟の進步と共に一般的に購買力の增進を來せるの結果に外ならずして、輸移入の增進そのものは憂ふべき現象にあらず。殊に輸移入增進の程度が、近年著しく緩和せられ來る、頗る欣ぶべき所以ならずや。

朝鮮貿易をして、入超の域を脫し出入均衡、更に輸出超過の境に到らしめんことは、直ちに期待す可らざるべしと雖も、產業の振興し產物の豐富なるに從うて、漸次貿易は順調に趨くべきは、當然の勢にして、內に用ゐて餘あるもの、之を外に輸出するは勿論、朝鮮內にては絹服を着くるとも、絹絲布の作り得べきは作り、之を他に供給する位までは朝鮮の產業は振作せざるべからず。然れども產業進步し產物增加すとも、若し外に供給するに需要を考察し、販路開拓を講ずることを怠らば、勞して効尠く、此點は當路者の最も意を用ふる所にして、各種產業に從事する者も、將又商工機關、組合の如きにありても、共に本生母國は勿論、外國の事情に注意し、常に貿易促進の機會を捉へて怠るなからむこと、第一緊要事たり。若し今日朝鮮貿易の促進について、聊か最も世人の注意を喚起すべき必要問題を提供せば、其は販路開拓擴張の問題たり。

製鐵問題（五）

四、緊急解決案

▽政治家の注意　歐洲戰亂の結果に因る鐵材供給難の問題は延いて內地製鐵事業の勃興を促がし、再轉して原鐵供給問題となり、更に國際問題に波及するに至つた。故に官設製鐵所の擴張は勿論、民間製鐵事業の擴張計畫は、素より我邦工業發達史上、大に悅ぶべき現象たるに相違ないが、我邦の一般鐵政策の見地より看る時は、右の如きは單に一小部分の問題を解決するに止り、他に鐵に關し解決を要する緊要問題が頗る多い。されば今期議會に製鐵所擴張に關する政府案の提出せらるゝや、貴衆兩院を通じて獨り枝光製鐵所の現在及び將來に關する計畫を論議するに止まらず進んで國家の大局より將來我國の鐵自給策を如何にすべきか、又軍器獨立の實を擧ぐるの方策果して如何、及び枝光製鐵所を官民合同の經營に移すの可否、並に民間事業獎勵方法如何等、此際政府自ら大に解決を要すべき案件頗る多きを指摘して政府の所見を叩いたのであつた。

▽民間の研究　之より先、民間に於ても單り企業家のみならず、學者側に於ても、鐵自給に關する根本問題に就て種々の論議を重ね、其結果機械學會、造船協會、火兵學會、電氣學會、日本鐵鋼協會等直接鐵工業に關係ある諸團體は、相聯合して本年初頭研究會を催し、各專門家の討議演說あり、次で具體的行動をとるの一手段として特別委員會を設けて其研究を繼續するに決した。其後鐵自給の問題は今や朝野を擧げて緊急問題として議論せられ最近に至つては官民一致調査會の組織を見るに至つた。斯くの如くして日本の鐵政策は漸く一進展を劃せんとして居る（完）

日本文化の淵源（二）

文學博士　物集高見氏講演要領

朝鮮との關係　千字文が渡來した應仁帝の御宇論語、千字文が渡來した此二書の渡來に據つて初めて日本に唐の文字が傳はつたと言ふのは誤りである決して此時が日本の文字の初めではない最初から書物と成つて來たか否かは不明だが兎に角其前から字は來てゐた應仁帝は支那では魏の司馬炎の時代である然るに其時代より三百年前の後漢の光武皇帝が日本駿主を怡土國（今の肥前の國の一部）に封ずとして金印を與へた事があつてゐる即ち怡土國王に封ずとしてある其字位は讀める人があつたものと見なければならぬ即ち字は既に傳はつてゐたと言はねばならない

▽其金印の事は　後漢書にある許りでなく天明四五年の頃筑前で畑を打つ百姓が土中から發掘して今も尙ほ保存されてゐる金印が寸法と云ひ字と云ひ書に記されてあるのと同じもので書の僞りで無い事が確かめられた。處が其の後漢より又三百年餘り以前の秦始皇帝時代に徐福が皇帝の命を奉じて不死の藥を求めて來朝し紀伊國熊野に著いた時攜來したのが日本に文字渡來の嚆矢と爲す者もある正否不明ではあるが總て是等の仲介案內を爲した者は誰ぞと云へば皆朝鮮人である。是も昨夜來客の話であるが日本人が應仁の朝に王仁の持來つた論語千字文を如何に讀んでゐたかと云ふ事である王仁は治國平天下と云ふのを初め棒讀みに讀んだ上更に「國を治め天下を平ぐ」と返して讀む二通りを敎へて居つたと云ふ說で

▽是れ全く珍話　である此事は日本の學者間にも議論のある事で荻生徂徠などと云ふ漢學者は初めから棒讀みであつたのだと云ふ說を持し自らも其樣に讀んだ處が國學者は最初から返り讀みであつたと云ひ本居宣長などは其頭であつた其當時の千字文は現存してゐる千字文とは違つてゐる何時の世からとなく變つてしまつて來たか分らない何でも論語千字文は其れ自體が主なる贈物ではなくて日本に馬を獻ずる事になつて論語千字文は馬に添へた贈物なのである然るに其頃朝鮮にも本は無かつた筈なのである前から漢字が支那から朝鮮に來たと云ふのは誤りで恰度其頃渡來したものを間もなく

▽更に日本に傳へたものらしい其れは私が紙の事を調べてゐる間に不圖發見した事であるが紙は後漢に初めて出來たので其れ以前は絹と云つて今の紙の樣なものに漆を落して書いたもので文字も現今の楷書や隸書で無く尙以上に難しいものであつた筆で書く樣になつたのは支那でも餘程以後の事で皆漆を刷毛に浸ませて書いたものなのである思ふに王仁が日本に傳へたのも百濟の自身も珍らしいものと思ひ日本との親交の故に其珍らしいものを持つて來たものらしい。欽明帝の御宇に佛法が渡來したが之も百濟が中繼したのだが是亦永く百濟に留まつてゐた後日本に來たのではなくて

▽支那から來る　と間もなく日本に持來つたものらしい。應仁帝時代に渡來した論語千字文が其後如何されたか薩張り不明の儘で推古帝に至つて初めて文字の利用が史に現はれて來てゐる尤も履仲帝の御宇に官をして國々の記錄を作らせたと日本紀にある今も述べた樣に其頃日本にはまだ紙が無かつた筈なのである日本に紙の出來たのは推古帝の御宇で履仲帝より二三百年も後代の事である履仲帝時代には日本は素より支那朝鮮にもまだ筆墨は無かつた爲め墨は後漢の明帝時代に印度から渡來したのである即ち日本紀の記錄が疑はしい事に成つて來るが一體日本紀は諸々動搖する處があるから

▽餘り信賴もされないのである史官をして筆記させたなどあるのは口から口に傳へた事の誤りかも知れない。應仁帝時の文字渡來は兎も角も日本文明の初めである渡來した許りでは別に文明の進步とも成らず之を實用に使用するに至つて初めて文明に貢獻されて來たのである其れは欽明帝の御宇から初められた佛法が傳つた時聖德太子が之を筆記したいとの話が出で百濟から來た者に其旨を御傳へになると其れには紙と云ふものがあつて云々の事に初めて大和國に楮を植ゑ其皮を剝ぎ紙を漉いた而して僧が筆墨を製へて經文を寫した。之れ文字の利用された初めである是等の事皆

▽朝鮮僧の手續　によつて出來たのである當時の僧は今と違つて決して只の黑衣でもなく頭も下げて其爲すべき事は人の便宜を計り人の爲に成る事をするのが主意で今日の如く靈魂取扱人ではない即ち當時の僧は日用の事、政治の事、文物の事のみを爲した而して當時の有名な僧は大抵朝鮮人で其後日本人が遣唐使などになり若しくは之に隨行して直接支那と交通する樣に爲つたが其案內者は又朝鮮人である如何に日本の文化に朝鮮が貢獻したか知るべきである

□正誤　昨紙「天の火鉢」は「天の日槍」の誤

三道隨行記

中島生

六、梨花嶺

○漢谷に沿うて羊腸たる山道を進み水安堡に到れば、多數の村民出でゝ總督を迎ふ。老媼老翁兒孫を携へて慇懃に敬禮す。茅屋小民の誠心掬するに堪へたり。總督は車上より叮嚀に應酬して僻村の民を慰諭し、道當局者より此地方の民情を聽取したり。水安堡には溫泉あり、未だ設備整はざれど、近く道路の完成と共に、他日立派なる好保養地となるべしと謂ふ。○鳥嶺一帶樹木多し。山奥に到れば斧鉞を知らざる大森林あり、交通未だ不便なる爲め、巨材良木も搬出するに由なしと。沿道所々に亭々たる欅の林を見る、柏樹亦多し。此邊には鑛物亦乏しからず。石門洞の如きは風に有名也。月岳山には重石鑛豐富にして、鏡鋼者三十名の多きに上れる有望の所ありと聞く。

○坂路漸く急にして、掩堡より先きは殆ど人家を見ず。路は千仭の谷に臨み、掩堡の村落は脚下に在り。鳥嶺橫斷の通路は殆ど完成し居り、自動車の通るに支障なけれど、なほ手入れ中の二三箇所は、大事を取りて下車し、徒步す。本年八月までには全部完成の豫定なりと當路者は說明せり。何しろ峻嶮を穿てる道路の事なれば、完成の後も、常に管理方法を怠らず、少しの破損も直ちに修理せざれば、爲めに大なる故障を招くべく、玉をも轉ばすべき坦々たる大道も、若し其修繕を怠らんか、午ち惡路と化せむ。況んや羊腸崎嶇たる山道に於てをや。忠北の當局者は此點に最も深慮し、敢て遺憾なきを期しつゝありと聞く。

○總督を先頭に、一行之に隨ひ山道を徒步す。前山面を壓して鐘ね、斷崖人目をして眩せしむ。滿天滿地新綠滿らんとし、鶯を隔てゝ鳥聲頻りに呼び應ふ。登路極め盡せば峠也。是を梨花嶺と稱す。海拔千五百尺。此處は忠北慶北兩道の境にして隘壁開けて自から門を爲し、之より一路下りて聞慶より尙州に赴くべし。送り來れる忠北の人と此處に袂を分ち直ちに慶尙北道に入る。

京日詩壇

○折梅寄人　安永春雨

禹域歐洲晴戰塵。暖回東海邁佳辰。元節是梅花節。聊寄一枝千古春。

評曰。瑰奇磐拔、不著塵坌。

○同上　富澤雲堂

雪嶺滄波各入詩。先君來訪有黃鸝。輸千里信州路。託得湘南春一枝。

評曰。設想亦奇。

○同上

來爲寄天然物。箇是江南第一枝。開說漢城梅笑遲。箇中辛苦痰冰肌。

評曰。遣詞流暢。

○同上　成田碧石

聊寄小枝三點開。今朝早著一聲來。心莫笑遼東豕。此是吾家鶯宿梅。

評曰。一枝玉蘂爲誰開。偶自溪頭手折來。欲寄吟窓求品隲。野梅好熱與宮梅。

評曰。任筆揮成、不費意匠妙。

發表は成るべく正確に認めて下さい。（日池）

一句づゝ

（五の月十の日會吟）

○薬摘ひ喫く蛾立てたり　鳥堂
○菖蒲湯を出て日藥をさせり　句平
○行く春の四手菜の照り水に觸れ　日堂
○行春の羽切雁を飼ひなぶる　日池
○蜂紛れ來るほどの風猛棚哉　日池
○石に集る蜂見て草に書偷す　鳥堂

京城府告示第十號
大正三年四月一日京城府公立普通學校授業料徵收規程中左ノ通改正ス
第二條第一項龍山ノ下ニ「昌信」ヲ加フ
第三條第一項第六號「茶洞」ノ下ニ「昌信」ヲ加フ
大正五年五月十七日
朝鮮總督府府尹　金谷充

商業登記公告
不二興業株式會社監査役高田義丸及八木千之助ハ任期滿了ノ處大正五年四月貳拾九日八木千之助ハ重任シ且左記ノ者監査役ニ當選同月參拾日就任シタリ
東京市深川區大住町四番地中村富三郎。京取締役右近和作ハ大正五年四月貳拾九日辭任シ同日左記ノ者取締役ニ當選就任シタリ
熊本縣熊本市中唐人町貳拾四番地商田義丸
右大正五年五月拾九日登記
京城地方法院

購買入札
民籍簿用紙二百五十萬枚
詳細ハ大正五年五月二十二日以後ノ本府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

岡山縣人　岡崎佐平に告ぐ
岡元に急用あり至急歸宅を要す現住所は京城南山町二丁目三宅富治へ報知せよ

●桑新種子廉價提供
魯桑種子特價壹升貳圓七拾錢無送料
普通桑新種子特價壹升貳圓五拾錢同
桑種は取扱を迅速にし發芽せざる弊なく殊にれも正確に諸需用を…
但前金又は內金拂込申込あれ
攝津國川邊郡山本村
振替大阪一九二三　阪上植樹園

●移轉廣告
今般舊治療所狹隘の爲左記に移轉仕り尙從前通り診療に從事可仕候間此段御披露申上候　謹言
京城南山町三丁目十三番地（舊治療所向ひ洋館）
齒科醫學士　橋本清次郎
橋本齒科醫院　電話二九二番

新刊書御案內
書名　著者　定價
法律講義　阪上綱吉　特七五
朝鮮總督府巡査試驗提要　永野清　同四五
民法演說　崇纂　三穗卓堂　三五
信書精鑒上下二　中川部　一九〇
練習式手紙の文　中村春堂　六五
實用ペン習字帖　黑柳勲　二〇
建築圖案集　フランクロイドライト　一三〇
實効主義の各科敎授　小岡教育研究會　六〇
英文法新話三卷　吉田碩次郎　三五
獨習英和熟語辭典　清水起正　七五
セリスピア物語　ポケットリダー　一五
實習既語字　荻原雲來　一七〇
南軍通覽　保阪彥太郎　四五〇
つれづれ草　芳賀矢一　八五
西洋芝居土產　坪內士行　一四〇
我等の一團と彼　石川啄木　一三五
煬帝艶史　三木愛花譯　九五
ロスメルスホルム　島村民藏譯　一〇〇
グリム御伽噺　中島孤島譯　二二〇
佐久間象山　遺表　一〇〇
天理教祖御繪傳　二五
觀世流の友　解訂本　五八〇
京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七三番
大阪屋號書店

講談落語界の一流大家と今賣出の花形は悉く此一冊に集る
講談落語　名人花形揃
娛樂世界六月特別號
大懸賞募集
□女の仇討……猫遊軒伯知
□代脈（落語）……柳家小さん
□美女丸……寳井馬琴
□業平金五郎　田中村雨……桃川燕國
□首提灯（落語）……橘家圓藏
□天神山の首實檢……小金井蘆州
□雷電と鯱鉾……早川貞水
□世界奇譚　幽靈旅館……岡本綺堂
□私の力ミ戀……竹本綾之助
△寄席のもろもろ……四の人
△梅雨の研究……近藤鶯濱
△芝居のちよぼ……岡太郎
△忘れぬお客……江南春團
△僕を泣かせし芦州……吟咲
△西洋活動寫眞譚……志佐
□英佛奇譚　國事探偵……松居松葉
□鍋草履（落語）……三遊亭圓右
□俠客　紋三郎秀……神田伯山
□拳骨和尚……旭堂南陵
□三十石（落語）……朝寢坊むらく
□加賀騷動　陰謀露顯……錦城齋典山
□大福餅……桃川如燕
□黄門記內　越後家再興……一立齋文車
□おとは丹七……一龍齋貞山
本號に限り正價三十三錢　送料三錢半年送料共壹圓卅錢　東京日本橋スキヤ町　鈴木書店　振替二一一七

實用ペン習字帖
黑柳勳先生新編書仕立　本金二十錢　送料四錢
東京版　京城（電話六八四　振替一五七三）大阪屋號
今やペンを以て日本字を書する時代。ペン習字は此要求に依て生る。楷書行書草書とはなれり。書體を筆者の流麗なる運筆と鮮明精巧なる印刷と相俟て何人も直に會得熟達せしむ。

會員募集
第三回新學期開始
產婆學受驗講義錄（全部完成）
顧問　帝大敎授　木下醫學博士
●主幹　日本產婆學校講師　伊庭醫學士
六ヶ月卒業　內容見本　規則進呈
東京本郷駒込動坂町　日本產婆學講習會

面目一新せる六月號
日本幼年
□日本幼年は敎育的である……□日本幼年の噺は面白い……
□日本幼年は娛樂的である……□日本幼年の紙數は多い……
□何よりも繪が美しい
□日本幼年は智惠を増す……□日本幼年の附錄は爲になる……
□日本幼年は玩具となる……□日本幼年の値段は安い……
（婦人世界・少女世界・日本幼年）壹冊拾貳錢　郵税壹錢　半年郵税共七拾五錢　壹年壹圓四拾四錢
發行所　東京京橋鍛冶橋外　振替四千九百番　東京社

◎要は退職後の善後策

袁總統南京會議の議長へ電致

馮國璋等の總統退職勸告に對し袁總統より未だ公式に返電なきも總統は南京會議の正副議長に對し余(袁總統)は敢て大總統の地位に戀々たるものに非ざるも退職後の善後策を全うして退職するにあらざれば國家の爲め憂患を貽すの虞れあり卿等各省代表者と熟議し速かに國家萬全の方策を講ぜよとの意味の文面を電致したるが思ふに之れ袁總統が體好く現地位を保守し機を見て徐ろに計を廻らさんとするものに非ざるやと觀測さる(上海特電)

◎對日人兌換協定成る

日本人に對する中國交通兩銀行の兌換は二十二日より六月五日迄領事館の證明あるものに限り毎日洋銀二萬元を兌換することに協定成れり(奉天特電)

◎北京政府と南京會議

北京政府は南京會議を骨抜きと爲すか又は取消さしむるか何れにもせよ同會議は價値なきものと認むることに決定したるを以て近々何等かの手段を講ずる筈なりと(北京特電)

◎敵軍果然攻擊猛烈

佛軍踴躍二回の猛襲を擊破す

獨軍がアヴォクール森林地方二八七高地三〇四高地に對して攻擊を行ひ來るべきは此の方面に於ける佛軍戰線の向ふ側に初手の二個師團を集中せること、重砲を以つて組織せる約四十の砲列より激烈なる砲擊を行ひたる事實とに依り佛軍は早くも之れを豫期せしが果然敵は十八日夜アヴォクール堡壘に對し擲彈攻擊を敢行し來り翌日黎明迄繼續したり而して其の計畫の確實に阻止せらるゝや敵は之れと同時に再び猛烈なる砲擊を行ふ事十二時間に及び更に午後五時に至り三個旅團を以て二非米突に涉る戰線に對し步兵攻擊を行ひ來れり即ち第一旅團はアヴォクール森林に第二旅團は三〇四高地の西方に第三旅團は同高地北方に向つて各々死力を盡して攻擊し來りたるが此の攻擊の再び擊破せらるゝや敵軍は又もや砲擊を開始せり要するに這は敵が更に襲擊を試みんとするを豫示するものと認め得べし(巴里電報)

◎輸出減の大連

輸出港として異數の現象

大連港は由來輸出港にして輸出常に輸入の上に居り其の趨勢は朝鮮總山安東を通過する陸路貿易の輸入增進と共に大連港貿易の輸入に影響しそれ丈け益々輸出港の本色を發揮せるが此の輸出が昨年より本年に掛け著大なる減少を見たるは注意すべき現象に屬す今大正四年四月より本年三月までの貿易額を見るに

▲其の輸入高 は日本、支那朝鮮、歐洲、米國、南洋等よりするもの總てを合せて五十六萬五千八百九十五噸にして前年度に比し八萬五千四十一噸の增加を示し日本よりの輸入品は木材を最高とし銑鐵、枕木、野菜、果物、鐵鋼等之れに次ぎ燐寸の如き殊に增入せるが朝鮮よりのものは依然白米を第一とし豆油用の空罐之に次いで多量輸入せられたるは注目に値ひす歐洲、米國、南洋よりの分は戰爭の關係に由る船腹の不足にて微々振はざるも支那沿岸よりの輸入が俄然增進して第二位に進みたるは上海、天津、山東各港との貿易殷賑を呈し來れる結果にして此の趨勢は今後も持續すべし輸入の斯く增進せるに反して意外にも

▲其の輸出額 は振はず即ち四年度の輸出は百五十七萬一千四百二十八噸にして前年度に比し二十六萬八千三百十四噸の大減少を示せり此の大減示は從來最も多くを輸出せる日本及び南洋への輸出振はざりしが爲にて前者は前年度に比し二十萬三千七百餘噸、後者は九萬九千五百餘噸といふ近年見ざる處の減少を示せり日本內地への出減は大豆及び豆粕の輸送減と炭價の暴騰に伴ふ石炭の出減主として其因をなし南洋への出減は石炭輸送の思はしからざるに職由す朝鮮への輸出も前年度に比し四千四百六十噸の減を見たり更に之を品目に就いて見れば減少せるものは大豆、石炭、高粱、包米、小豆等の謂ゆる滿洲特產品にて自然特產界の不振を卜するに足る事なるが豆粕は日本內地への輸出減少したるも臺灣、沖繩等への直送品增加せる爲め約十二萬五百餘噸を增加せり殊に從來滿洲において廢物同樣に見做されし居たる金物類が內地に於ける鐵類の需要昂進に煽られ盛んに輸出せられ一躍一萬八千餘噸の增加を見たるは是又た注目に値ひする現象といふべし鐵類輸出の增加は滿洲貿易には多數にして蓋し一時の現象に過ぎざるものと認められ居れり

本年三月以後の貿易も大體叙上の趨勢を繼續し居るを以て此の五月も輸出減の傾向を免がれざるも日本及び南洋方面に對する需要力回復せば幾分增進するを得べく而して其の增減が滿洲特產の上に消長を來たさんことは言ふ迄もなき也(大連)

□皇儲殿下行啓

皇太子殿下には海軍中尉の御軍服を召させ給ひ二十一日午前八時四十五分御出門山根武官長御陪乘又淳宮、高松宮兩殿下には同八時十分御出門三好傅育官長御陪乘品川停車場に成らせられ直ちに御乘車同十時二十分橫須賀驛に御著車藤井鎭守府司令長官以下諸官の奉迎を受けさせられ御徒步にて逸見波止場より軍艦筑波の艦載水雷艇に御搭乘工廠船渠其他を御見學種々の說明を聞し召されたる上艤裝中の大艦山城を御巡覽御晝餐後追濱航空隊に御成りあり山內司令の御先導にて海軍飛行機其の他を御見學イ式第二十三號の飛行機操縱を御台覽ありて午後四時四十五分品川驛著列車にて還啓遊ばされたり(東京特電)

◎總督農場視察

寺內總督は二十一日午後東小門外なる李王職所管農場に赴き午後五時頃歸邸したり

◎鮮人漁業發展

慶北沿岸の主要漁法

慶北沿岸に於ける朝鮮人漁業は年々向上發達の機運を促しつゝあるが殊に近時魚類の需用增加は各種の漁業を勃興せしむるに至れり、就中慣行ある鰮、鯡、鰈、鱈、鯖、鰤等の各刺網、手操網、鰆、鮪延繩、太刀魚釣鰤地曳網は各漁村の重要漁業にして漁民の經濟も亦之れに依りて支持せらるゝ狀況に在り、又た改良鰤流網、鰆曳釣及び鬱陵島の柔魚釣は進步の跡最も顯著なるが其他續々漁法の改良に努めつゝあり、元來鮮人漁業者は半漁半農者多數を占め專漁者と雖も大規模の經營者少なく、近年稍大仕掛の計畫をなすものなきに非らざれども其施設未だ見るに足らざるもの、如し、這は要するに一般の漁業者未だ貧弱にして資金の調達意の如くならざるに依るものにして漁船の如き漁業者數に比し僅少なるも亦之れが爲めなる可し

◎忠北の製紙業

近時紙類の暴騰甚だしきため忠北道廳にては年產額四萬五千餘圓を有する堤川郡に於ける朝鮮紙製造業者に對し務て指導獎勵しつゝありし改良漉道法に依り和紙の製出をなさしめ傍々自給自作の精神に基き本年度より忠北道及び各郡に於て使用する和紙百五十萬枚の製造をなさしめん計畫にて六月一日より七月末迄二箇月間淸風にて昨年度の製紙傳習會卒業生中成績殊に優秀なるもの六名を選拔し該製作に從事せしめ約十四萬枚の製產額を得べく八月一日より十二月末迄新期傳習會を開き生徒をして講習中約十四萬の製產をなさしむる外一般製紙業者間には組合を設置せしめ適宜指導の下に供給の方法を講ぜしむる目的なるが該製產品は內地製の其れに比し紙質の強靱なると價格に於て約二割方の低廉なる由なれば該製產の從來の朝鮮紙製造に比し有利なるに於ては今後大ひに發達すべく囑目されつゝあり(淸州)

◎金剛山の精測

臨時土地調查局にては客月以來地形測量の一班を江原道金剛山に派し內外金剛各部に亘り綿密なる實測を進めつゝあるが十月末頃終了の上は取急ぎ周圍二十里に亘る金剛全山の二萬分の一の精細なる地形圖を製しローマ字を入れ金剛山探勝客好個の案內圖たらしむべく參謀本部陸地測量部發行として明年頃出來すべしと

◎勝田總裁の經濟演說

支店長會議に於ける訓示

四、希望の要點

予は更に進で諸君に對する希望の二三を述べんとす

▲眼孔を大にせよ 一は眼孔を大にすることなり。苟も地方に於て一店を預る地位にあるものは、其眼孔大ならざるべからず。事務に付て言へば支店長として支店そのものを好く主宰することは勿論なるも、倚本店の事務其他の銀行業務又は側面の態度をも考慮中に置き仕事を爲さゞるべからず。又地域につきて云へば、例へば平壤支店に付て考ふるに、平壤のみの經濟狀態に限らず、朝鮮滿洲露領若くば內地等の事情をも能く觀察せざるべからず。予は諸君を單に一支店長として之を見ずして將來の局長重役たる人物として之を見むと欲す。予の如き官界より出で、當行に總裁たるが如きは常態にあらずと信ず。重役の如きは成るべく之を內部より出す素地を造らざるべからず。凡そ大なる事に着眼する人にして又微細なる點に通ぜざるは稀なり。現代予の抵觸したる偉人に就て見るも、眼孔大なると同時に又紙背に徹するの概あり。此の點は特に諸君の注意を喚起し置くべし。

▲地方調査の詳密 二は地方の調査を詳密になすことなり。之れ從來に於ても實行せらるゝ所ならむも未だ充分と云ひ難し。地方に在勤するものは地方の生產其他の事情に精通し、之を自己の用に供すると同時に本店に報告し幹部の參考に供せられむことを希望す

▲特種銀行と收益 三は收益狀態に注意することなり。是れ當行にとりては一大問題なり。當行は云ふまでもなく一面國家機關にして總裁も政府の任命する所なれば、假令多少の利益を犧牲とするも國家的の事業ならば、之を助成するの必要あり。而して私立銀行の利益を顧慮するが如きことなきを要す。然るに一面よりすれば銀行業務を經營する以上は收益を度外に措く能はず。又特種銀行たるの故を以て他銀行に頗る處して放資せざるが如きことあらば朝鮮開發の實を擧げざるの非難を生ずべし。此等の點は頗る困難の問題なり。兎角一面國家の機關として立ち、他面利益を目的とする如き、此の間の調節は頗る困難にして、此の點につきては其具體的問題に依り解決の實際的なる判斷に任すの外なし。予が幹部の金融行政に携はりし時、方針として採りたる所を一言述ぶれば特種銀行業務の監督は其の着眼者に信任し收益計算等の如きものに付微細の容喙を爲さず、之を嚴に戒して金融行政に伴ふ大局の發展に付極力責任を負はしむるを以てせり。蓋し是れ行政の妙味ある所にして、此點に付ては當行の如き最も幸福なる境遇に立てることを深く信じて疑はざるなり。(下略)

◎延安耕地に水利施設

東洋拓殖會社は黃海道延白郡の所謂延安平野に約三千町步の耕地を有し既に七十餘戶の移民を收容し居れるが同平野は比較的水田多きも之れなからざるに付會社は先般來昆立技師松田調查役を派し諸種調查をなさしめしが何れ遠からず相當の水利施設を行ふ事となるべく又移民の收容地としても頗る餘地あるに付今後も續々其の移植を行ふ由にて村上殖民課長は視察旁々近日同方面を實査し來れり

◎水道鐵管增設工事

京畿道にては工費一萬九千餘圓を計上して水道配水增管工事を計畫し今月下旬より著手し來る十月末までに完成する筈なり其の區域及び延長を聞くに靑野町入口南廟の下より三坂通りを經て岡崎町より龍山練兵場北端の兵營に連絡するもの此の埋設鐵管は四時及び三時にして延長千百二十間あるものと又靑野町入口より商業銀行社宅側天理教會事務所を山越ねに古市町侍井精米所南側に通ずるもの鐵管三時にして延長三百五十間此は御成町より城壁町金光教會より和樂園內に連絡すべきものの埋設鐵管三時にして此延長三百五十七間と京城府廳東旭町一丁目より二丁目に至る間七十八間三時鐵管を埋設し蓬萊町三巴精米所附近より靑葉町一丁目に連絡すべき四時鐵管四百五十間等也

◎滿洲の柞蠶(一)

東三省は世界有名の柞蠶產地なるが就中奉天省東南部は最も盛んにして其生產品の一半は芝罘製絲場に輸送し之製織原料に供せられ又其一半は上海市場に輸出せらる從來柞蠶に關しては已に關東都督府及び滿鐵會社に於ても充分の調査を遂げ其大要は一般に知悉せられ居るが左は最近支那側の調査に成る者にて日本側調査と相待ちて頗る當業者を裨益す可きものとす

▲柞樹 柞樹の性質は櫟、楢、槲等の樹と相類す此內槲、櫟を以て最良となす自然林、造林の二種あり蓋平地方は多く造林を行ひ安東、莊河、岫巖、鳳凰城、寬甸の諸縣は皆柞樹の自然林を作成す柞樹に適するの土地は北風を受けざる丘陵の半腹を最良となし夕日直射し或は陰霧あり又附近に森林ある處は飼產に甚だ不適當なりとするも土地肥沃如何は大なる關係なし

▲蠶場 柞蠶を柞樹に放育するの處を蠶場となし其蠶場の單位を一把剪子と云ふ是れ苦力一人を以て一箇の剪刀を用ひて蠶兒を飼育する所の面積を稱するなり其面積約二十畝內外柞樹三千五六百株乃至四五千株ありて之より四五萬乃至十萬個の收繭を得べし之れが賦課税金は普通二三角より五六角に至る蠶場は三四回輪伐法を行ふを例とし即ち三四年每に一回剪伐し樹の高さ七八尺に至るを最限度とし十三四年を過ぐれば漸く衰朽に赴きて飼蠶に適せざるに至る而して一把剪子の蠶場の賣價は上等千元、中等八百元、下等五百元位にて又其賃入値段は中等約百七十元位なるを常とす

▲著名なる蠶場地 奉天省に於ける著名なる蠶場地は左の如し

▲西豐縣 花紅溝、猪紅崎、大頭溝、三間山、滿店家、栗子卿、接官廳、萬福莊
▲鳳城縣 園田店、湯山ヶ、寶馬甸、雙陽城
▲遼陽縣 大連河、去洞峯、隆昌以南
▲寬甸縣 二龍渡、站子河、石柱子、山子、北石河、長甸、大甸石河
▲安東縣 紅石砬子、梨濟溝、綱板山、綠東大河岸、三股嶺、𡵸嶺、佛見山、太平山、高麗岡子、打泡
▲岫巖縣 大洋石河、太平門、大林子

人事消息

▲大內暢氏(三菱重役) 廿一日夜入京巴城館へ
▲松川護雄氏(鮮銀木浦出張所長) 同上
▲中田口元學氏(朝鮮郵便電鐵會社長) 二十一日夜入京朝鮮ホテルへ
▲佐藤潤象氏(同常務取締役) 同上

■南言北語■

南京が洞ケ峠になつて商井流の軍學師が大會を開くとか▲北京政府が金のないのが玉にきず、つて事を云つて居る內に南方獨立の火の手はダン／＼擴がり出した▲西安も最う獨立軍の手に歸し將軍陸建章は行衞不明▲陝西が愈獨立するとすればお隣の山西も油斷はならぬ▲山西が動搖を始めると其又お隣の直隸にも傳染する事は受合▲直隸に始まると北京は何うなる醜の蒟蒻のと云つて居る內に中原は大騷亂▲となつては大變だからと云つて人の痴氣を頭痛に病む樣な惡性やない▲獨首相ベートマン、ホールウェッヒの默さる告白に曰く▲巴里を拔くは易し要は犧牲の如何にあるのみ而も巴里の陷落は英國をして平和を欲せしむる力なし戰爭は依然繼續さるべし▲露都を衝いて陷落せしむるは易し而も英國には何等の痛痒を與へざるべし戰爭は依然繼續さるべし▲伊軍を陸より海に追ひ込むは茶飯事のみ英國は風馬牛たるべし▲英國を屈伏せしめる手段は唯彼の海軍力の破壞にあるのみ平和の敵は英國なり▲之れで見ても獨逸の意中は忖度する事が出來る▲が平和の敵は英國なりとは平和の敵の投げかけ合ひらしい▲最後の斷案は無茶苦茶だが論理的な處は道がカントの如き論理家を產んだ獨逸仕込である▲過日視察して歸つた志村勸銀總裁の談片に曰く、分家に內地の田地を分けてやるよりも其れ丈けの金で朝鮮の田地を買つてやるがよい▲內地の田地一反步買ふ金があれば朝鮮では五六反步買へる▲とは好い觀察である本家が內地で分家が朝鮮なんて平凡な樣なが却て面白い▲持參金の多い娘も大に朝鮮に嫁入さすべし

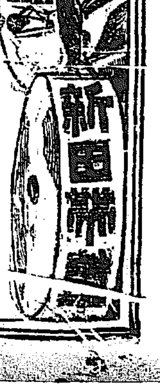
◎煙の都から

大阪にて 有價生

る、可憐な肉と靈を早く救つて道りたい
反對贊成である、併し今の魔遊郭の取消延期は六つかしいらしい
まで兩側を見て通るといふ、異に是れ生きた出雲の神
東京の日本を一大腹事を試むといふ
▲內地向雜貨市場は擴大洗價に遊ぶ
石山輕君、偽いと褒めて流くそれに
株を打歩附で賣出さなかつた處は流石に
に於ける職工は素より工場主等が工場法に對する理解力がない「宛然
兒科病室と覗く丈に全身栗を生ずる
▲神戶高商生等中休暇を利用して西

◎大邱の牡蠣驅除

大邱府及び達城郡內に發生せる牡蠣驅除に就ては去る十五日以來



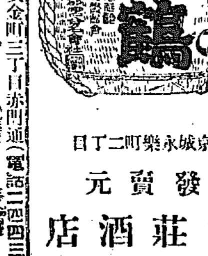
帶革各種 パッキング ビッカー 生皮齒車 綴革組金具 其他工業用諸革
品質保證在庫豐富
朝鮮總代理店 鐵商 白神洋行 仁川本町四丁目
一冊 御報次第 送呈

警官志望者 養成講義錄
警官は內地臺灣朝鮮支那外國に就職◉◉此榮職に就けば確實に成功切◉本會は志望者養成◉受驗に合格せしむ◉◉軍人靑年立身の福音 進呈◉東京芝公園在鄕 警察協成會

內科 特に 小兒科 婦人科
京城本町五丁目(郵便所隣)
午前宅診 午後往診
院長 正七位 淺川源一
淺川醫院 電話一三三番

日韓書房 新版報告
都倉農村編輯部譯 英國の田園生活 定價八十錢 送料八錢
弘 塚本譯 トルストイ民話集 定價一圓十錢 送料十錢
陸軍中將 田中義一著 壯丁讀本 定價三十五錢 送料六錢
征矢野兄雄著 ショッペンハウエルの研究 特價一圓八十錢 送料十八錢
三省堂發行 新々英和辭典 定價一圓 送料八錢
京城本町二丁目 朝鮮 電話 振替

株式會社 朝鮮商業銀行
資本金五拾七萬五千圓(全部拂込濟)
諸積立金二十四萬百圓
京城南大門通一丁目 電話五五八番 振替京城一六八三四一番
銀行長 趙鎭泰 支配人 豐田明敬
一般銀行業 倉庫業
南大門支店 本町支店 仁川支店 平澤支店 東大門出張所

優等清酒


京城永樂町二丁目
發賣元 本荘酒店
電話六五四番 振替京城二〇六番

眼科內科 小兒科
京城黃金町三丁目赤門通(電話二四四三番)
入院隨意
本田醫院 院長 本田建義

國產獎勵と朝鮮牛
朝鮮牛の特徵
▲見落す勿れ 畜產界 農業界▼
▲性質溫順にして勞力粗食に耐へ酷寒三伏の候と雖も原野に放するも疲勞病魔に侵さるゝ事なし
▲爪の堅牢なるは岩石を割るが如き堅固無比なるが故に數十里の山路石道にてもクツを穿たしむるの必用なし
▲近來朝鮮牛の佳良なるは諸點の完備せるに依る之れ農家畜產界の一大福音として賞讃せらるゝに依る
▲輸送は朝鮮及び日本內地に於ける鐵道運賃の特約と關釜間に於ける輸送は汽船により迅速確實を以てせり
▲農業家畜產界の諸彥益々御引立あらん事を奉願上候
活牛移出 問屋 上杉古太郎商店 釜山鎭驛前 電話一〇三七番

[illegible]二百三十六人、中で硝子工場の九十三人が最も多く虐使されてゐるのだ黙くなつて火傷と不眠に惱まされて

過日來市內各方面に三千餘枚の往復葉書を飛ばし賛否の意見を徴した、昨今その返信が續々來る過半數以上

の結婚媒介を思ひ立ち市內各區役所にて獨身者と生娘を調査する事實に三百名一文の報酬も取るでなく床盃

は同百噸の製造をなす東洋[illegible]崎九州各地の製氷會社を併合し中國四國を掩席し餘勢を驅て阪神間に

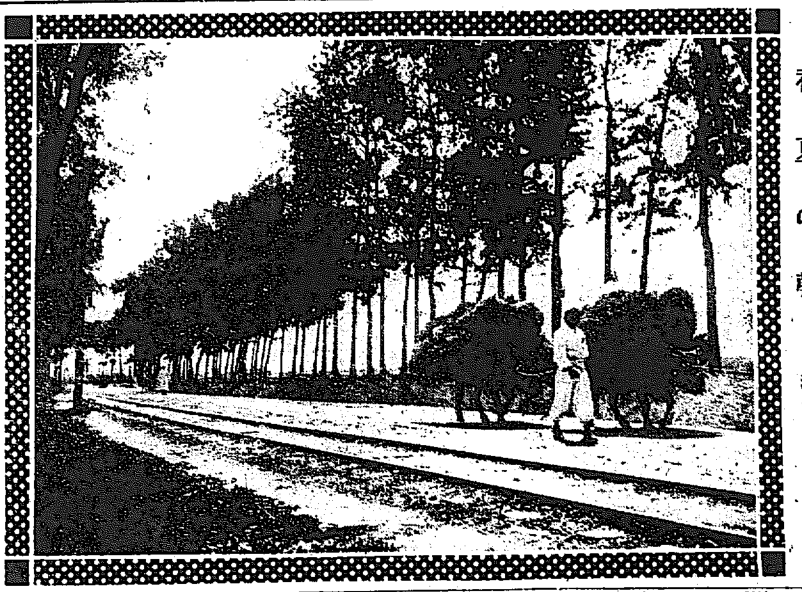
▲大阪鐵工所は現在資本を倍額に增資して千二百萬圓に增加するが其新

▲地方工場を巡視した吉野監督官は工場法は近く實施されるが地方工場

▲京都大學病院出火し小兒科本館ば烏有に歸した損害の如何よりも小

[illegible]實業家と學生の接觸を得且つ著中休暇の好利用として推奨する

[illegible]しつゝあるも益々猖獗を極め被害甚だしきを以て更に大規模の驅除をなす爲め準備中なり



初夏の朝 ―清涼里―

◉露都土産

女勞働者が殖えた 獨人は忍耐に富む 日本商人は今より大に覺悟せよ

佐渡朝鮮皮革常務談

予は專門丈けに皮革工場の事は仔細に視察もしたが尙其他一般の製造工業狀況も露國內に於ては大に殷賑であると瞥見した今迄こそ各種其材料不足の爲め工場閉鎖の止むなき狀態を續けて來たが戰後大に活動するに於ては決して莫迦にならない一概に邦人は露國を目して野蠻未開の如く云ふものもあるが斯の如きは

露國の事情に通

じない者の言ふ事で少しく國內の事情を知るに於ては決して其樣な大きな事は言へなくなつて來る國民は成程日本人見た樣にコセ〳〵せず頗る鷹揚な處があり欺さうとして掛れば欺せない事もない樣な非常に大きな處があるが工業などに於ては殆んど總てが獨逸式を取り戰爭前迄は獨逸人の技師が澤山に入り込でゐたし機械は元より獨逸製だし工場法から何から總てが獨逸式で到底日本などの比較にもならない程進歩したものがある現今でこそ戰爭熱の爲め獨逸國を絕對排斥しやむなく日本國を

歡迎してゐる樣

なもの丶戰後に於ては必ずや更に戰前に幾倍した强大な勢ひで獨逸の力が侵入して來るであらう即ち戰後露國に於て日本商人が位置を占めようと云ふには獨逸國と競爭する覺悟がなくてはならない露人の反獨逸思想は成程激烈なものだけれど烏渡した商品などにしても舶來と稱して獨逸品は內國製よりも高價である戰爭と同時に在露都の獨逸人は一齊に歸化してしまつて不相變發賣を續けてゐる成程露國人の反獨思想は隨分激しいものだ大使館などは見る影もなく叩き壞されてゐる位である况んや在露獨人に對しては仲々激烈な壓迫や迫害がある然し流石は獨逸人だ

怎麽悪罵を受け

ても平氣な顏をして普通と同じ調子で商賣を續けてゐるそして皆心中に戰後の大發展を期してゐる予の友人の一人が獨逸人の宅に下宿してゐたが或時其處で晩餐を共にした時主婦の曰くに今こそやい〳〵言つて騷いでゐるけど露西亞人に何が出來るものか如何に破壞されても戰後二年の內には獨逸の勢力が露國內に於て恢復されるだらうと此樣な考で在露國獨逸人は一時の苦痛を忍んで最後の勝利を期してゐる

此絕大な忍耐力

日本人など大に學ぶべき處であらうし殊に露西亞に商品を出さうとする商人などにとつては大なる覺悟を要求しないではゐられない話は機るが露國人も仲々豪い處がある昨今露都の街に目立つのは殆んど總ての旅行者の語る樣に女勞働者の數の多い事で汽車、電車の札賣から官公衙受付から殆んど總て婦人を以て爲されてゐるが是れは決して男が缺亡したからと云ふ譯ではない近い例が予の在露中に滿十九歳の青年が募集された位である滿十九歳だから日本式の數へ年で行つたら

二十歳二十一歳

と云ふ處だが今日迄其等の青年は市中に殘されてゐたのである然し矢張り婦人勞働者を使用してゐる其理由に曰く獨逸退治の戰爭はまだ今が初まりで是れから眞の戰爭が始められるのだ隨つて愈々男子が缺乏して婦人の手によりて何事も爲されねばならなくなる時期が來るに違ひない其時になつて狼狽して婦人にやらせても役には立たない即ち今の內から大に養成して置くのだ、と平氣なものだ流石露國は大國で露人には大きな處がある負けても仲々悲觀せずさらばと云つて

勝ても馬鹿悅び

なさしない露國の尙一つ大きな處は市中など非常に景氣のいゝ事である戰時中ではあり乾度露都では市况不振の事と思つてゐたが何が扨て非常な景氣で殊に驚いたのは贅澤品に羽根が生えて飛ぶ樣に賣れて行く事である其一例だが今の市况不振で贅澤品など賣れが悪いと思つたので一つ土産にダイヤモンド入りの指環でも買つて行からかと思つてゐる處へ同宿人で大阪の寶石商人がゐて和蘭行の途中露國で一儲やらうとしてゐる處で一緖に連れ立つ事に成り先づ露都

第一の寶石商店

に行つた其店は宮廷からの御用を蒙る處で大きな店を張つてゐたがダイヤモンドが品切れだと云ふんだ皆賣切れてしまつたので頗る非常な好景氣だと云ふ其他數軒の商店を訪問したが皆さうだ逆の商人が日本の寶石商だと聞いて少し讓つてくれと反對の要求に出會つた無論眞劍の申出で話を進めて其商人は大阪から荷を引いて何でも十四五萬圓許り賣りつけ三萬圓許り儲けたと云つて大悅びをしてゐた

ダイヤモンドに

限らず自餘の寶石類が皆ドン〳〵賣れて行くと云ふ事だ又獨り寶玉類のみに限らず贅澤品の賣行が皆いゝんだ相で毛皮商も一寸覗いて見たが是亦非常な景氣で價格も非常な高値を稱へてゐる時節は既に毛皮類使用時季が過ぎて夏物の繁昌する時なのに依然として値が下らない怎した譯かと聞いて見ると殘品は店藏ひにして此秋に賣出すんだからと云ふ需用を充す丈けの商品が出ないんだと云ふ(終り)

東京大相撲

廿一日午後東京支局特電

△四日目の勝負

勝	負	勝	負
藤の川	八幡山	千葉崎	刈藻川
琴ケ浦	敷島	柏戸	朝綠
玉の川	稲の穗	十州山	逆鉾
千年川	岩木山		
金の花	九州山		
兩國	寒玉子	對馬洋	石山
小常陸	伊勢ケ濱		
浦の濱	大錦		
▲中入後			
太刀山	釋迦嶽		
紅葉川	四海波	眞砂石	梅川
黑瀨川	龍ケ崎	鶴渡	稲葉嶽
鳴門洋	痛分 宮城山		
大の川	大鳴門		
八甲山	休 栃木山	大蛇潟	近江富士
朝潮	休 宇都宮	西の海	玉手山

△金の花改名 金の花は五日目より師匠故尾車文五郞の前名大戸平と改名せり

右の中▼敷島に琴ケ浦は琴右を當てゝ出づるを敢取つて捨てんとしたるが擧突き掛け突き拔きて琴の勝▼栢戸に朝緑は朝の右差を操左手に挾み付け右を筈に當つるや繁れかゝつて押し切る▼稲の穂に玉の川は玉の下に入らんとするを稲頭りに叩きしが殘つて右四つと爲り稲强引に下手投げに行くを足癖に掛け寄り倒して玉の勝▼十州山に逆鉾は突き合ひ逆の引き落し土のハタヤ其殘つて双方土俵一ぱいに跳れ廻り押切つて十州の勝▲千年川に岩木山は岩木の突き懸ける處を千年受けて左を筈に當つるや逆二無二押すを岩木巧みに土俵を廻つて殘し右四つに渡り互ひに呼吸を計る內水となり後岩木寄りを見せるを千年ウンと耐へて强引に釣り出して勝は力の入りし相撲なり

▼金の花に九州山

はガツキと左四つに組み九州山れ懸つて猛然寄り進むを土俵際にサツト打つたる上手投見事にきまり金の花の勝は大喝采▼寒玉子に兩國は兩の本差を寒門にきめしが何の造作もなく下手投で寒はコロリ▼石山に對馬洋は双方の呼吸合はずして立合にいたく暇取りしが立ろ上や石飛び込みて左差しとなり對馬が右上手を取つて强引に提げんとする出鼻を見捕に行きしが頓着なく釣り出して對馬の勝

▼伊勢濱に小常陸

は小常陸突いて立ち左を當て丶懸命に押し進むを伊勢左を深く覗かせ陶ひを見せ廻り込みしが小常進さず押し左りを差して寄り進み伊勢が土俵際に打棄らんとするを右を筈にあてゝ押切り小常の勝は大喝采を博したり

▼浦の濱に大錦

は當日隨一の好取組なり浦の鋒に立て錦の突き懸るを浦左へかはし錦の左手を取つて捻れば美事にきまつて錦は仰向けに土俵に轉び浦の勝は滿場殆んど總立となりて喝采鐵乘箱をゆるがす許りの騷ぎなりき▼太刀山に釋迦嶽は釋迦の右差を太刀左に巻き右に當てゝヅン〳〵と押し切る

▲中入後

▲紅葉川に四海波は突き張り出して紅葉の勝▲眞砂石に梅川は眞砂機先を制して無二無三に突き出す▲黑瀨川に龍ケ崎は突合ひ黑瀨突き進めば龍敵の右手を手操つてトツタリに行くを黑瀨右手を預けて渡し込み勝▲鶴渡に稲葉嶽はバツタリ右四つに組み稲の釣り進むを鶴土俵際體を預けて殘し反對に釣り身に寄り進んで鶴の勝は鶴珍らしく元氣の相撲を見せたり▼鳴門洋に宮城山突き合ひ宮城二本差しとなるを鳴門挾み付けて押し合ふ內鳴門鼻血を出し爲めに痛み分となる

▼大鳴門に大の川は右四つに組み互ひに左上手を引きつゝ鳴門吉三郞らんとするを大の懸命に殘せば鳴門然らばと右足を外掛けにあびせ掛けて鎗るゝをウツチヤツテ大野の勝▲八甲山に栃木山は八甲病氣の休▲大蛇潟に近江富士は近江立上るを土俵際に捻つて蛇の勝▼玉手山に西の海は玉の下手に飛び込むを西イナシ玉の廻り込むを押切り西の勝にて打出し

學界偉人の大講演

三十餘年間苦心の結果廣文庫の著作をなし我學界の大恩人たる

文學博士物集高見氏

は今回の來鮮を幸本社支局の乞に應じ左記の順序を以て各地にて大講演あるべし 來聽隨意

□仁川(廿二日)□鎭南浦(廿四日)□平壤(廿五日)

□大邱(廿八日)□釜山(廿九日)

主催 京城日報社各支局

◉沈沒船艦引揚

海軍省の許可を得て著手

歐洲戰亂以來鐵類の騰貴につれ各地に沈沒又は擊沈されたる船舶の引揚に從事せるものある事は既報の如くなるが茲に熊本縣當時釜山富平町松浦庄太郞は慶南蔚山沖合に日露戰役當時爆沈したる露艦の引揚方を海軍省に認可申請中なりし處今回其許可を得引揚權を獲得したるに依り近く引揚に著手すべく尙濟州島附近にも同樣の權利を得て不日著手する由也

鯛の季節はこれから

□元山鯛の初荷が市場に現はれた□

◇東海岸元山の櫻鯛が廿日の朝初めて京城魚市場に入荷しました、漁師の謂ゆる「うをしま」の季節が參りましたから鯛の値段はこれから廉くなりませう

◇京城に來る鮮魚中色美しき櫻鯛は主に釜山から參ります、釜山の海は一年中四季を通じて漁れますが他の港ではいつでも漁れる譯に參りません

◇仁川の鯛は京城にも距離が近く且つ見目がよいので京城の料理屋では悅ばれて居ますがこれは主に夏の土用中幅を利かして居ます

◇其他群山の鯛は五月下旬から盛漁期に入り元山はまた六月初旬から漁れ出します、西は鎭南浦、龍岩浦、東は淸津あたりもだん〳〵これに後れて盛漁期に入ります

◇朝鮮の鯛は主に八十八夜頃から漁れ出し暖流に乘つてだん〳〵北進するもの丶やうです中にはプランクトンを追うて北進し北の海が寒くなるとまた引返して南下して來るといふ人もあります

◇群山附近の鮮魚は主に內地から來た汽船の冷藏庫により下關方面へ輸送されつ丶ありますが今年は船腹の不足なため割合に內地行が尠くなり廉い鮮魚が供給されようかとの噂もあります

◇元山からの初荷は麥酒箱で二十個來ました、市場の相場は十貫匁十二圓位ゐ群山のが毎日四五十個で十四五圓です

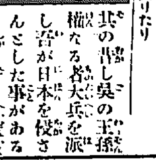
◇一時京元線未開通の時には元山の鯛は盛漁期になると無價同樣の値段でしたが後ち鐵道開通以來京城の市場に澤山現れるやうになりました

◇元山鯛は色の黑いのと肥過ぎて割合に目方をふむので厭はれて居ますが刺身にしても水を含まぬほど身が引締つたのは元山鯛の特色だ相です

◇其の他鰈、鯖、鰆なども追々盛漁期の季節に入りました釜山ではまたあじも漁れます。(京城魚市場之談)

◉武德館の試合

二十一日の日曜は最近稀なる好天氣とあつて、京城漢陽公園、南山公園、近郊外は殊の外の賑ひであつた、此日黃金町の武德館では陣內館主以下一同打揃つて午前十時から南山公園京城神社に參拜し豫て用意された公園の中央廣場で擊劍試合が始まる、最初に劍道の型を試み次いで幼年及び青年兩組の基本動作同じく三本勝負、打入、輪轉勝負、武裝競爭と漸次進んで幼年組の紅白勝負、其れから晴試合を演つたが此の晴試合は多數參觀者の歡興を惹いた次は紅白に分れて幼年組の川中島合戰の煎餅割り、源平試合等あり午後五時頃終りを告げた



其の昔し吳の王孫權なる者大兵を派し吾が日本を侵さんとした事がある▲然し其の兵船幾百艘舳艫相銜み渺茫たる海波を蹴つて襲來の途中船疫病に起り軍氣沮喪遂に引き返して吾が凡士にも彼れの足跡を印せしめなかつた▲此の事實は普通の日本史並に支那の史書にも載つてゐない、唯古書「八幡宮本記」外一部に記されてゐる▲豐太閤の朝鮮征伐は前後十年に渉つた大役だが當時朝鮮開城の首位に据れる柳成龍の著「懲毖錄」に大閤が韓の使節を引見した際三寶に盃を載せ其れを恭々しく飲んでゐたと云ふやうな細かい當時の生活の模樣を記してゐる▲今日の甘黨の持て囃す砂糖は日本で何人の舌の上に初めて味はれたかと云ふに、嵯峨天皇が支那から輸入されて口にされたのを第一とする▲では支那は如何と云ふに唐の大宗の時に印度より入つて來たのぢや、然しそれは氷砂糖だつたらしく「石蜜」と書てある、印度は古へから砂糖の本場であつた▲牛乳は西洋からの舶來物のやうにハイカラは思つてゐるが醍醐の上味と云ふ佛語は今の牛乳のエッキスの味を云つたものである▲印度では古代から牛乳を用ゐてゐた……とは物集博士の談片

◉篠崎牛助氏結婚 京城本町一丁目文房具商篠崎牛助氏は今回牧山耕藏氏夫妻の媒介に依り氏の郷里宮崎縣[illegible]三郞氏長女うめ子と去る二十一日午後六時南山町松翠亭に近親知已を招待し披露の宴を張りたり

◉日曜の西本願寺 昨日曜の西本願寺は宗祖見眞大師の七百四十五回誕生日に當りしかば時日和で境內は朝の間から多數の善男善女がつめかけて來て勤行や[illegible]式の了つた後はまた御齋や餘興で非常な人盛りを見た

◉三人組强盜 平安南道平原郡肅川面內洞里一統八戶農宋大典方へ五月十五日午前二時頃三名の强盜各自棍棒を携へ押入り宋大典を麻繩にて縛り上げ棍棒にて毆打し聲を立つると殺すぞと脅迫し房內に在りし金十五圓及び銀裝刀一本銀指輪一個宿巾一組木二疋價格三十一圓の物品を强奪逃走せり屆出でに接し肅川分隊より憲兵出張して目下捜査中也

◉鎭安の畸形牛 全北鎭安郡聖壽面佐浦里居住李震大(五二)の飼牛が去る十四日一頭の犢を分娩したるに形體は普通より稍大にて眼三つと鼻四つを有し舌は中央より裂け二枚となり鼻は四つ共並列せる世にも珍らしき畸形牛なるより忽ち大評判となり多數の見物人押し掛け居れりと

京日案內

普通(一回前金三十錢無割引 實名一回每に金五錢增)
番外(一回前金六十錢無割引 匿名一回每に金五錢增)
▼申込より途中掲載中止の節は料金返戻せず

普通

▼印刷と製本 ▼名刺・出版物・等 ▼特長 美◆廉◆速 本町二電三五二七 ウツボヤ印刷部 158

婦人至急入用 年齡二十歲前後 給料面談の上 大平町二丁目金華園 山崎 477

雇入 年齡十六七歲男店員數名入用希望者は至急來談あれ 新町三角地前電三二一番 石見堂 479

募集す 有給外務員今回業務擴張に付至急委細面談 京城本町四丁目 大東湯隣 日本恒產株式會社 480

◉預けたし 三月出產男子乳の方に一ケ年程預けたし 京城本町一丁目卅三 澤山あ 大正社 電話二六三六 482

◉但馬特產柳行李一手販賣 並古本賣買取次 電話二一〇番 本町三丁目 但馬屋號 北村商店 470

外務員採用 月給弐拾圓外に歩合を給す希望者履歷書携帶本人來談 京城花園町二二二 帝國圖書普及會支部 457

竹木陶器大理石銅眞鍮化學應用 無刀彫刻法傳授 壹圓送れ直に郵送す 大田(大田座前) 石原米藏 455

古本無比高價買入 勉强堂の是非御試賣を乞ふ御報即刻參上 京城本町四 電話二七八一番 群書堂 199

旅館讓受たし 京城旭町三丁目山崎 電話一七九七番 176

▲キャラメルは……滋養に富む……京城藤商會の……人蔘キャラメルに……限る…… 413

◉古本なら野村 買入誠實御報參上 京城本町一丁目(明治町筋) 電二六三六番 野村書店 142

◉諸病院又は患家の御需めに應ず ▲京釜看護婦會▼ 電話二八六三 旭町一丁目一參三 171

昆虫及植物採集用具特價販賣 京城壽町四〇 電話三二七六 回天堂教育品部 421

番外

新雜誌新古本の貸本 松榮堂の特色 賣買交換割引 京城本町一 電話一三七八 430

調査 信用、財產、人事、入札、委托、賣買、貸借、其他 京城明治町二の三七 振替三五九五番 電話七一七番 朝鮮興信所 473

▼讓店 但商店新龍山の場所現在確實なる御得意多數あり▲一軒 建にて間取豐富何れの營業にも適す 右讓る希望の方は相當御面談 姓名在社 472

京城春川間乘合自働車 金片道四圓 ◉京城發午前八時 ◉春川發午前九時 京城水標橋通り 京春自働車商會 支配人 松田壽男 電話式參八番 50

◉高給社員招聘 業務擴張に付誠實なる人格高き紳士三名高給にて招聘す履歷書携帶本人來談 横濱生命保險會社 朝鮮出張所 黃金町二ノ一八一 465

旅館至急讓る 年營業多大の信用並に純益あり主人歸國に付至急格安にて讓る(姓名在社) 466

日鮮滿巡遊切符讓渡し度し 右當地より安東奉天大連を經て門司著博多迄期間五十日間にて終る希望の方は本町日本蓄音器商會まで御問合せを乞ふ 電話式八參番

◉はねつぎ うちみ くじき 等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 150

皮より强い値の安い 專賣柳製德用鞄 京城本町一丁目 高木旅行用具店 167

東京中川式 懷中電燈 魔法マッチ 小賣 卸 電池の强力他製品と比較を乞ふ 黃金町電話二九十八 口座京城壹九 時計店 川合 186

京城大和町一丁目(日の出橋下ル) 內科 小兒科 爲壽堂醫院 院主 古城御吉 (電話九二八番) 191

京城本町二壽町元中島病院跡 專門 胃腸病 呼吸器病 內科 兒科 山田醫院(入院隨意) 電話二八八〇番 197

玄米糖化卒先者にて於東京醸友會關東醸酒大會一等賞受領 細菌學應用 純粹糖化の 玄米乳の腐物あり絕對無効力 玄米乳 京城新町 414 製造所 電話二八七

鑛山用機械類並採鑛 マグネット新荷著 京城南大門外 電話二九四〇番 京僧商會 417

分拆 鑛物各種(正確迅速) 京城太平町二の二三〇 朝陽分拆所 424

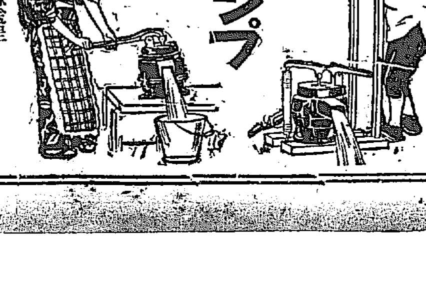
賣家賣地 傳道會社所有土地 煉瓦造四十三坪貸家三百二十六坪平家 却したし望の方は御來談を乞ふ スミス方 貞洞三四 468

重石買入 及鑛山諸機械製作取次 高價 京城南大門外皁屋旅館內 電話一五一七 坂本出張所 469

印入大勉强

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亜鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成低廉とし 京城日報社 寫眞製版部

◉松田式ポンプ



御中越次第目錄呈 朝鮮一手特約販賣 京城本町二丁目 釘本藤次郞商店 電話四五番二七七四番 振替京城二五六番

七 醫

千生瓢 (219)

須藤南翠作 筒井年峰畫

長湫(二十)

かくと聞いた高木清秀、眼を瞋らして乾度正信を睨め付けた。

「やあ、彌八、其方なぞは算盤の目をせゝつて、米、鹽、味噌の入用を勘定するか、野先にて臆を使ふ事は巧者であらうが、何として戰場の進退を存知居らう。其方共が出る席でない、退り居れ!」

今にも摑みかゝらん勢ひにて、大聲に罵つたので、彌八郎正信も色然として膝立て直し、猶言ひ慫さんとする勢ひであつたので、家康は笑ひながら双方を制して、

「半藏が申す處といひ、今また善次郎の申す條、能く此方の考へと符合致すわ。さらば懸れ」と下知をした。

一軍は忽ち士氣を振ひ作して、從容整然として調へた。其時家康は、寵臣井伊萬千代直政を召し出して、

「其方は手勢を以て先を打て。長湫の東方二町ばかりに、富士ヶ根といふ丘がある、彼處の切通しより人馬を進めよ。此方も其後に續いて、田の中より進むであらう」と命じ、こゝに愈々進戰の議は一決した。

萬千代此時二十二歳、一昨年十月元服して、兵部直政と名乘り、武田が家の勇將、山縣三郎兵衛昌景、土屋右衛門直村、原隼人昌國、一條右衛門太夫信就等が手の者七十四騎、坂東に名を得たる勇士四十三騎を扶持して、山縣が名譽の備へを慕ひ、上は大將より下雜兵に至るまで悉く赤色の甲冑を用ゐ、眞赤になつて進むを見て、堀久太郎秀政は名代の軍上手だけに、今朝より戰ひ勞れた人數を以て、此の決死の赤備に當れば、唯一戰に打破らるゝは定のものぞ、戰ひは今日一日に限るでないと思ひ返して、其英氣を避け、戰はずして北の山際に引退いたので、井伊の先手は一矢をも費さずして、堀の陣地を占領し、充分な勝の地位に立つたのであつた。

森武藏守長可は、徳川勢の本隊懸ると見るや、咄嗟に馬の頭を立て直して、自身眞先に驅け向ふ。長可は此の一戰を以て、勝たば三河一國の領主となる、敗れば生て再び筑前守の面を見まいと決心して、最初より元の陣地に引回す考へはなかつたので、家康愈々出馬と見るや、勇氣日に百倍して、例の長槍を打掉り打掉り雲霞の如く馳せ向ふ敵に對つて逆まに押寄せた。

森が家子に其人ありと聞ゐた橋本清太夫、百々兵庫、各務十太夫、大塚五郎三郎、原新右衛門等の面々、我後れじと驅け出せば、徳川勢の方よりは、松平主殿助家忠、奥平九八郎信昌、手勢引具し驅け向ひ、唯一蹴りにと突き進む。

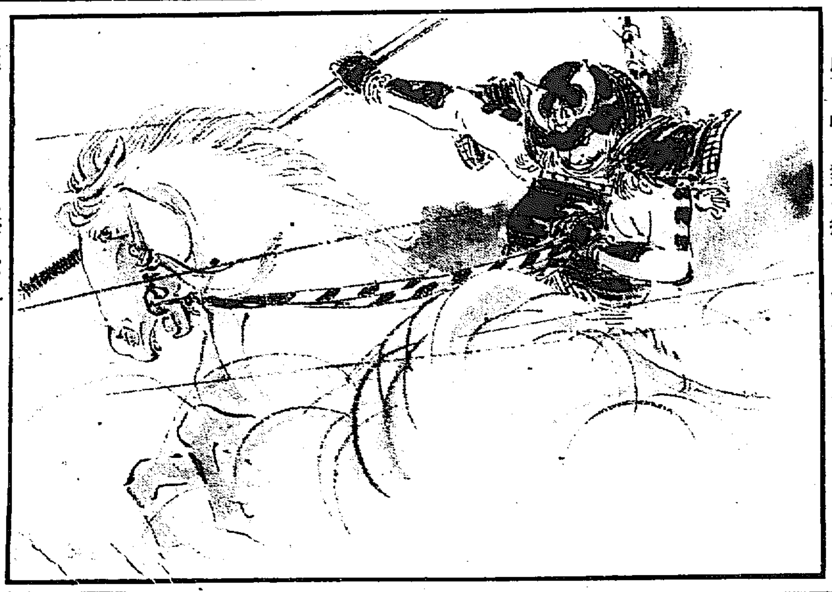
長可斯くと見て、

「我等羽黒の八幡林に出陣して、生涯に覺のない不覺を取つたるは、この奥平九八郎ぞや。申さば鬱忿の復讐戰に、やはか再度の恥辱を見ようや。會稽の恥を雪ぐはこの時ぞ。後れを取つて後代までの侮を貽すなよ、者共」と、大音聲に衆を勵し、火花を散らして戰ふた。

流石は森三左衛門可成が一子である。蘭丸、力丸、坊丸が兄弟である。柴田勝家、佐久間盛政に立ち並んで鬼と呼ばれた勇士である。群がる敵を物ともせず、長槍を打ち掉り打ち掉り、此處を最後と戰へば、松平が三河武士、奥平が遠州侍士、數度の戰場を往來して、數多武功の兵ながら、此の猛勢に突き崩され、開いては盛り返し、盛り返してはまた開き次第〳〵に突き立てられて、早晩二三町ばかり引き退いた。

其時大須賀康高の組下に、杉山孫六、本多八藏といふ鐵砲の名人があつたが、長可一人に突き立てられて今や足取の亂れんとするを心外に心得、畔道傳ひに足場を計つて、兩人銃口を押並べ、狙ひ定めて切つて放つた。

名手が手練、勇將の末路、獅子王の如く暴れ狂うた鬼武藏守長可も、二つの丸に眉間を打ち碎かれ、後へ射貫れた急所の痛手に、何かは以て怺ふべき、後鞍に仰向に臥したが、やがて鞍にも堪らず、撞と落ちて悲愴なる最期を遂げた。行年二十七歳である。



京城大和町三丁目(不老泉葛川端)
中谷 内科 小兒科 醫院
電話一〇三三番

■鍛錬集會

對洋君東京本店へ轉任に付送別句會を催し行春五句を課し送別句一句を贈る(五、五、一五)

行く春や土いぢる子の日燒顔 對洋
轉任に句席の春を惜みけり 同
河床荒れを行く春の雨明り 泥下
若葉落ち行く春は湖水に暮れて舟早橋 同
机拭く春行春の雨も靜かな日 銃雨
高麗山は若葉隱れに暮れの春 孚根
行く春や木蔭に爭ふ鞠の數 米甫
堤道を迴々として往く春暮るゝ 予明
蝶わがく小縁に小女春惜む 汀々
行く春に澤邊牧場の寢牛哉 行人
家の女の出癖とてし春暮るゝ 三木
浪の鳥鳴き去りて春春の空晴れたり 不足
酒股かき長屋窓々春暮るゝ 草四
痩騙思ひに脊すり柱や暮るゝ春 同

新刊紹介

▲ショウペンハウエルの研究 近世哲學史上獨得の哲學體系と殊に印度哲學を西歐哲學に結合し其の思想を融和せる點とアグチル、ハルトマン、ニーチェ、ドイッセン等の思想を喚起し感化を與へたるのみならず意志を以て實在となる主意論を徹底的に唱道せる點とに於て看過すべからざるショウペンハウエルの哲學は從來姉崎博士の著の外數種の翻譯書解說ありたるのみにして完全なる解釋論の書なかりしが今回我が文學士矢野晃雄氏の手に依り此の著を見るに至りたるは當に暗夜に燈光を得たるの感なくんばあらず本書は之を三部に分ち第一部に於ては主としてショウペンハウエルの生涯と彼の性格とを描き第二部に於てはショウペンハウエルの哲學の大系を客觀的に敍述し第三部に入りて之が批評を試み彼の性格と關係歷史的地位學說の價値内部的矛盾其の由來及び彼の文明的意義を窺はんとせり公正なる評論明確なる解釋明快流暢なる文辭は桑木文學博士が序に以て近來に於ける哲學論文中の白眉となせるも宜なる哉(四六版五百七十頁一圓八十錢東京市牛込區神樂町一東亞堂書房)

▲佛教史論 鷲尾順敬氏が曾て一度雜誌等にて公にしたる佛教史に關係あるものの十五篇を纂輯したるものにして一般史學者が屢に事實を明にすると趣を異にし氏が獨特の史眼を以て考證し佛教實際の精神に依つて作られたるもの(一圓三十錢東京市小石川區原町丙午出版社)

▲實業之世界(一三の一〇) 今回更に內外商業館に就て名士の說を掲載する事とせり本號には野依秀一氏の議論を載せたり(十錢東京麴町區有樂町一の四)

▲水產界(四〇四) 海の博覽會號第二にして漁業推航海、發動機水產製品詩歌等海に關する各方面の研究を集錄(二十五錢東京市赤坂區溜池町一大日本水產會)

▲關西琵琶評論(五週年記念號) 六錢淡路市泉寺村其社

▲新農(二の五) 七錢山梨縣東京府荏原郡荏田村衾四一六其社

▲帝國農會報(六の五) 十二錢東京赤坂區溜池町一其會

▲兩替虎の巻(四の五) 二十錢東京市芝區白金三光町四六二富の日本社

▲少女畫報(五の六) 十六錢東京京橋區竹町一東京社

▲保險新聞(六の七) 九錢東京市神田區北神保町八其社

▲兒童動物園(タヶ號) 非賣品新義州植町二の六多田榮吉

▲大日本新聞(三百號記念號) 五錢大阪市北區北野芝田町一七四其社支局

▲活動寫眞雜誌(二の六) 一周年記念號大評なり雜錄には活動通の譯ぬけずまね記事ばかり(廿三錢東京赤坂區一木町六五其社)

▲トモダチ(二の六) 此の據の附錄のうちの御山の大將せ絵の動物園水園館やカヘルノキリがきなど誠によい思つきです(十二錢東京市麴町區富士見町一の三〇二葉社)

▲小學生(六の六) 八錢東京府豐多摩郡大久保町東大久保文教社

讀者の領分

近頃鐘路附近の朝鮮の小供は日本人に石を投げて困る。爲に負傷した小供もある嚴重に取締られたし(父兄總代)▲内田理士様今度の鹿友會誌で今も尚私に變らぬ御友情の私の上に厚いことを拜見致し嬉し泣きに泣きました近く一別以來の消息を申上ませう田村さんにもよろしく願ひます(慶州の郷友より)▲稲益生君よ君の公徳論が絶對論皆ならば敬聽の外なかるべし乍去輔味噌が毎日腐り通しと云ふが如きに至ては挑他論を敢てするものにあらざるや疑なき能はず聞く彼の人は師匠の不在中十數日間相弟子手解の補助を爲し居るとの事なりそれしも君の神經に障るものなるや嗚呼君の偉なるに感じ助言一句如斯(日ノ出生)▲新川畔山間の道路は水田より低地なるを以て少しく雨天なる場合は數日間泥濘膝を沒するの惡路なるを以て人力車自轉車は勿論徒歩人さへ水の水田を歩むの感あり通路人は痛く不便を訴へ居れり數寸の砂を撒布するにあらざれば到底通行路として見ると能はずとは一般人の定評(毎日往來生)▲近頃非常にやかましく爲つた遊廓全廢論は大いに國家の爲將來有爲の青年の爲め實に慶賀すべき事である我國家を思ふの士は大いに贊成助力しようぢやないか(朝鮮の一青年)

和議成立の觀察

現在北京政府は袁總統不退職の方針[illegible]退職は全局瓦解の虞れあれば袁氏を留せしめ正式議會の[illegible]を待ち[illegible]決の非常手段を取るの決心を以て著[illegible]停止する旨を電告したりと傳へらる[illegible]を遂行する[illegible]手段に過ぎず又南方及び外交團、外人等は觀察し居る者[illegible]

[illegible]一月の兩回に涉る[illegible]藥品の一部[illegible]り更に適當と認むる[illegible]師會其他の公工の上其々分配使用せしむることゝなれり(大連)

わきが にて今迄彼是と藥を用ひ効なき方はファーザー十藥價三十錢六十錢郵送不要 京城黄金町三丁目 山田文殊堂藥房 一度お使用あれ 注文は前金の事

りん病 消渇で困る方 多年の慢性もの 自宅にて人知れず安全秘密に治癒する良藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を報す 名古屋市南かじや町 武藤龜吉

小兒良藥 樋屋奇應丸 專治 소아의실신간질 급발성열증 等に奇効神の如し 到る處の藥店に有り 樋屋合資會社 大阪天満橋

賣行盛に Mゴム 益々發展 數ある中をM印は特に撰ばれて最も遠に御買上の光榮を得たる最優良品と御記臆を願ます 三田土ゴム製造合名會社製造 發賣元 京城本町二丁目 飯田商店

目ニ見ヘテ ズンズンドキドキ シュマズイタマヌ 井上博士 ロート目藥 眼病を、不潔い布や指で擦るのは目の爲に惡いから ロート目藥には消毒した布と、下圖の樣な新案の點眼器を添えてある 定價大瓶廿錢 小瓶十錢 全國各藥店にあり 本舖 東京 大阪 山田安民藥房

滋腎 田春丸 陰萎病並に神經衰弱に大効あり 壹週間分金七十五錢 三週間分金貳圓 送料各二錢 東京銀座 岸田吟香 電話新橋二番 四七七番

優等 富豊味中絶卓質品 清酒 金露 攝津灘魚崎 釀造元 大塚釀造所 各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候 京城南大門通二丁目 發賣元 大塚京城支店 電話四〇一番 振替口座五七〇番

診察時間 自午前九時至午後六時 初診の御方は可成午前中 京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前) シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

内科 小兒科 芙蓉醫院 醫學士 森定吉 京城本町二丁目(瓦斯會社前側) 電話二六三番

朝鮮銀行 京城 當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 電話(長)三三一、(長)三三〇六、三六一 振替貯金口座京城三三三番 六一三 二二六 支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街 右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

京城永樂町二丁目(商品陳列舘裏門通) 酒井婦人病院 入院隨意 電話二六〇〇番

賜天覽御買上 金牌受領 猪印のみとり粉 山豚票빈대약 INSECT POWDER 商標 登錄 製造元 大阪 住友大藥房 定價 吹出散布器入金二十錢 立鑵入金十錢、金五錢 到ル處ニ販賣店アリ

消化と毒けし 仁丹 金言 忍耐と沈默は勝利を得(カーライル)

金泉醴泉間自動車時間

	一番	二番		一番	二番
上り			下り		
醴泉發	前八、〇〇		金泉發	前八、〇〇	後二、〇〇
東宮着	九、三五		尙州着	九、五〇	四、五〇
咸昌着	一〇、二〇		咸昌發		五、三〇
尙州發	一一、〇〇		東宮發		六、〇〇
金泉着	後一二、〇〇		醴泉着		七、〇〇

▲小荷物運搬仕り候 金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆

船名	行先	日	時
○相模丸	大連、太沽、牛莊行	六月四日	正午出帆
高砂丸		六月十二日	正午出帆
三河丸		五月廿三日	正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航所屬航路(遠洋航路を除く)船の時は五分引を以て往復切符發賣仕候

船名	行先	日	時
○群山丸	木浦、釜山、關門、神戸大阪行	五月三十日	午後五時出帆
×天智丸		六月二日	
×汕頭丸		六月廿六日	
須磨丸		五月廿六日	
○木浦丸	釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行	五月廿九日	後二時出
×信濃川丸		六月十六日	
×信濃川丸			
○鎭南浦丸	大連行	五月廿四日	後二時出
×信濃川丸		六月十一日	
○大連直行			
×福州丸		五月廿四日	正午出帆
△湖州丸		六月五日	
○木浦丸	釜山、關門、神戸、大阪行	五月廿四日	後五時出
×安東丸			
○群山丸	釜山、横濱行	六月九日	後二時出
△潮州丸		五月廿九日	
×福州丸			
○清津丸	浦潮行(元山出帆)		
▲印八城津	西湖津ニ寄港浦潮不寄港		
須磨丸		六月八日	後二時出
安平丸		五月廿五日	
▲上海丸	基隆、打狗行(大連出帆)	五月廿六日	後四時出
○城津丸		六月六日	
基隆丸			

御注意 ○朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆約一時間前迄御乘船被下度候 ○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番 内國通運會社支店 電話七〇八番 京城切符發賣所

▲中國四國沿岸各港行船客に對し當分門司迄往復割引五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆

本社 京城南大門驛前 松原運送店(電話長一七〇番) 電話長一九五二番二三一番

鐵道會社及社外船と荷客連帶輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會被下度候

船名	航路	日	發地
○全羅丸		五月廿二日	釜山發
○京畿丸		六月四日	釜山發
○黄海丸		五月 日	釜山發
○咸鏡丸	門司より釜山各港寄港雄基間航路	五月廿六日	釜山發
○穩城丸		五月廿三日	元山發
○昌平丸		五月廿二日	元山發
○鏡城丸	元山より各港經由雄基行	五月 日	元山發
○忠清丸		五月三十日	元山發
○平壤丸	城津清津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行	五月廿二日	元山發
○永興丸	北久味、元里浦行	毎月廿八回	元山發
○益徳丸	甘浦、九龍甫、浦項各港經由鬱陵島行	五月廿三日	釜山發
○江陵丸	長生浦方魚津寄港	毎日	釜山發 浦項發
○張陽丸			
○三浦丸	長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港	五月 日	釜山發
○海州丸			
○統營丸		毎日	釜山發
○巨濟丸			
○慶賓丸	各港經由麗水行(三日目一回水浦行)		
○順天丸	各港經由麗水行、麗水より釜山行ニ接續	三日目毎ニ	木浦發
○慶興丸	各港經由濟州島行西廻	五月 日	木浦發
○公州丸	南多島海列島行(月三回)	五月 日	木浦發
○慶興丸	各港經由濟州島行東廻	五月廿二日	木浦發
○宗信丸	海州他各港碑油、德洞又は白翎島行	五月 日	仁川發
○江原丸	青島、大連、芝罘行	五月 日	仁川發
○麗水丸	各港經由木浦行	五月廿二日	仁川發
○晉州丸		五月廿六日	仁川發
○錦江丸	江華島、桐島、海州行	毎日午前	仁川發
○南陽丸			
○平安丸	往航 大黒山、木浦、門司、若松行 復航 門司、木浦、群山行	五月廿七日 五月廿一日	群山發 若松發

仁川代理店 本町二丁目(電話一〇八番) 山下回漕部
元山代理店 南大門(電話二四四七番) 田口回漕部
京城取次店 (電話二六八・二〇一七) 河村運送店

共同汽船仁川出帆

船名	行先	日	時
○芝罘、大連行 朝鮮總督府命令船 第共同丸		五月 日	入港
		五月 日	前九時出
○城津、清津、浦鹽行(元山出帆)		月 日	後九時出
第一阪鶴丸			
○西湖津沿岸各港を經て雄基行		月 日	前八時出
第三共同丸	(元山出帆)		

朝鮮鐵道主要驛にて荷客連帶輸送取扱仕候 大連にては青島行定期船接續荷客共直航船と同額運賃にて浦鹽輸送御取扱可仕候

阿波國共同汽船株式會社

汽船釜山出帆廣告

船名	行先	日	時
○立神丸	門司、神戸、大阪行	五月廿三日	後五時出帆
○立神丸	元山、清津、浦鹽行	五月 日	後十時出帆
○小倉丸	門司、神戸、大阪行	五月 日	後五時出帆
○小倉丸	元山、城津、浦鹽行	五月 日	後十時出帆
○第三蓬萊丸	元山、西湖、新浦、城津、清津行	五月 日	後六時出帆
○第三蓬萊丸	門司、宇品、神戸、大阪行	五月 日	後六時出帆
○天眞丸	住須奈、嚴原、壹岐、博多行	毎月二日九日十四日廿一日廿六日	午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

船名	行先	日	時
○大正丸	群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行	五月 日	後四時出帆
○大有丸		五月廿七日	後四時出帆
○神代丸		五月 日	後四時出帆
○秀吉丸		五月廿五日	後四時出帆
○君が代丸		五月 日	後五時出帆

仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部